

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	そうどう	所在地	茨城県下妻市宗道		
踏切道名	宗道	道路名	7256	道路管理者名	下妻市
		鉄道路線名	常総線	鉄道事業者名	関東鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等				R3年9月末時点			
踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)		6.6		左道路	0.0	3.0	0.0
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	2.1	0.0
交差角(度)		80		右道路	0.0	3.0	0.0
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	曲線		自動車	-	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
	高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		10	歩行者等交通量 (人/日)		3	鉄道交通量 (本/日)	96

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切遮断機が設置されていない
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R7	R7	
	対策内容					
	協定書締結(R8.1.9) 踏切遮断機設置予定(R8.2月末) 工事完了(R8.2月)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	遮断機設置により、事故防止が見込める。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	そうどうこうない2	所在地	茨城県下妻市宗道		
踏切道名	宗道構内2	道路名	7240	道路管理者名	下妻市
		鉄道路線名	常総線	鉄道事業者名	関東鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6		左道路	0.0	2.0	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	3.0	0.0	
交差角(度)		80		右道路	0.0	3.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		7	歩行者等交通量 (人/日)		0	鉄道交通量 (本/日)		96

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切遮断機が設置されていない
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	-	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

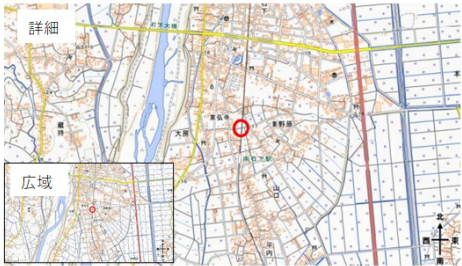
法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
設置イメージ(設置完了R6.2月) 		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R4	R5
		対策内容				
		協定書締結(R6.1.10) 踏切遮断機設置予定(R6.2月末) 工事完了(R6.2月)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R6	遮断機設置により、事故防止につながった。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	みつや	所在地	茨城県常総市東野原		
踏切道名	三ツ谷	道路名	636	道路管理者名	常総市
		鉄道路線名	常総線	鉄道事業者名	関東鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
 国土地理院電子国土web  現況		踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	5.2		左道路	0.0	4.7	0.0	
		横断本数(本)	1		踏切道	0.0	2.0	0.0	
		交差角(度)	80		右道路	0.0	4.7	0.0	
		道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
		踏切保 安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知 装置(手動)		-	
			高規格保安設備		-	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
		自動車交通量 (台/日)		57	歩行者等交通量 (人/日)		84	鉄道交通量 (本/日)	96

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R5	R5
		対策内容				
		遮断機設置				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R5	遮断機設置により事故防止に繋がる			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	みさか1	所在地	茨城県常総市三坂町		
踏切道名	三坂1	道路名	市道1062号線	道路管理者名	常総市
		鉄道路線名	常総線	鉄道事業者名	関東鉄道

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		5		左道路	0.0	2.5	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	2.1	0.0	
交差角(度)		85		右道路	0.0	3.2	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	終点寄有り	385		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全プロ グラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		0	歩行者等交通量 (人/日)		0	鉄道交通量 (本/日)	96	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	1	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第6号(踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R3	R3	
	対策内容					
	遮断機設置					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R3	遮断機設置により事故防止に繋がる				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	はらじゅく	所在地	茨城県常総市原宿		
踏切道名	原宿	道路名	223	道路管理者名	常総市
		鉄道路線名	常総線	鉄道事業者名	関東鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
		踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
		踏切長(m)	4.9		左道路	0.0	2.6	0.0	
		横断本数(本)	1		踏切道	0.0	3.0	0.0	
		交差角(度)	90		右道路	0.0	2.6	0.0	
		道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	-	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
		車両進入防護柵等		-		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-
		踏切保安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知装置(手動)		-	
			高規格保安設備		-	高齢者等の事故防止対策設備		-	
		特性	通学路指定状況(学校指定)		-	通学路交通安全プログラム		-	
			バリアフリー法に基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上重要物流道路上		-	
		自動車交通量(台/日)		10	歩行者等交通量(人/日)		27	鉄道交通量(本/日)	96

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第6号(踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	-	R7
		対策内容				
		遮断機設置				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R7	遮断機設置により事故防止に繋がる			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しんかい	所在地	茨城県守谷市原		
踏切道名	新開	道路名	3006	道路管理者名	守谷市
		鉄道路線名	常総線	鉄道事業者名	関東鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		8.9		左道路	0.0	2.7	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	1.8	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	1.8	0.0	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		自動車の全面通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		ポール柵を設置している		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		0	歩行者等交通量 (人/日)		533	鉄道交通量 (本/日)		204

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	遮断機が無く、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第6号(踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R6	R6	
	対策内容					
	遮断機設置					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R6	遮断機設置により事故防止に繋がる				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

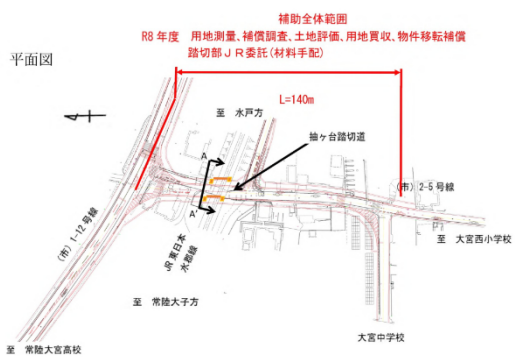
よみがな	ゆがだい	所在地	茨城県常陸大宮市抽ヶ台町3287-1		
踏切道名	抽ヶ台	道路名	市道2-5号	道路管理者名	常陸大宮市
		鉄道路線名	水郡線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点			
 《位置図》 「国土地理院電子国土Web」		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
		踏切長(m)	6.5		左道路	0.0	4.1	0.0		
		横断本数(本)	1		踏切道	0.0	4.0	0.0		
		交差角(度)	90		右道路	0.0	4.1	0.0		
		道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)		
			右道路	直線		自動車	-	-		
		交通規制	上記以外の交通規制(一方通行、車輪による通行禁止等)			歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
		車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
		歩車道分離方法	なし			バリアリ化状況	-	DID地区	-	
		踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)		-		
			高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止対策設備		-		
		特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム		○		
			バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
		自動車交通量(台/日)		208		歩行者等交通量(人/日)		260	鉄道交通量(本/日)	32

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	3	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	学校指定の通学路となっており歩道整備が必要
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車*トルネッ踏切	歩行者*トルネッ踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		事業中	○	R7	R7	-
		対策内容				
		踏切拡幅整備・歩道設置				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かくらいまえ	所在地	茨城県かすみがうら市央倉5752		
踏切道名	角来前	道路名	市道6-0004号線	道路管理者名	かすみがうら市
		鉄道路線名	常磐線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

東

稲吉東

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		17.3		左道路	0.0	5.8	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
交差角(度)		60		右道路	0.0	6.5	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-			踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備	障害物検知装置 (3次元レーザーレーダ式)			高齢者等の事故防止 対策設備		踏切道内の平滑化(連続軌道化等)	
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○			通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		1,772		歩行者等交通量 (人/日)		15	鉄道交通量 (本/日)	174

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,607	AとBの和	4,646		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	39				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		検討中	○	R7	-	-
		対策内容				
		歩道の設置(踏切拡幅)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

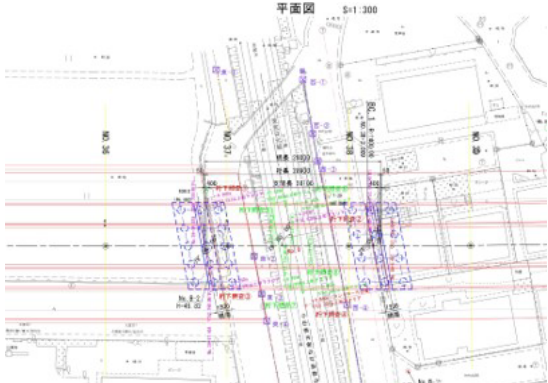
よみがな	にっこうせんだい278ごう	所在地	栃木県栃木市神田町387-2		
踏切道名	日光線第278号	道路名	市道11125号線	道路管理者名	栃木市
		鉄道路線名	日光線	鉄道事業者名	東武鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
詳細  国土地理院電子国土web 【現況】 	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	12.2		左道路	0.0	5.0	0.0		
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.3	0.0		
	交差角(度)		55	右道路	0.0	5.6	0.0		
	道路 線形	左道路	曲線		迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線	自動車		両方共なし	-		
	交通規制		交通規制なし	歩行者		迂回路なし (200m 以内)	-		
	車両進入防護柵等		設置していない	バリアリ化		迂回路なし (200m 以内)	-		
	歩車道分離方法		なし	バリアリ化 状況		-	DID地区	○	
	踏切保 安設備	賢い踏切	-			踏切支障報知 装置(手動)	○		
		高規格保安設備	-			高齢者等の事故防止 対策設備	-		
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-			通学路交通安全プロ グラム	-		
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-				緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		1,488		歩行者等交通量 (人/日)		547	鉄道交通量 (本/日)	233	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 道路幅員が狭小、かつ線路を斜めに横断しているため、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,536	AとBの和	6,177		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,641				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	—	R4	R6	R6	
	対策内容					
	当該箇所の日光線第278号踏切道を除却し、単独立体交差（オーバー）を行う					
	事業完了年度	対策の効果等				
—	—					
除却年度						
—						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しもあらかわ	所在地	栃木県小山市大字大本109		
踏切道名	下荒川	道路名	市道211号線	道路管理者名	小山市
		鉄道路線名	両毛線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		5.8		左道路	0.0	4.0	0.0		
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	4.0	0.0		
交差角(度)		90		右道路	0.0	4.0	0.0		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		
踏切保 安設備	賢い踏切	-			踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	-			高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○			通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		61		歩行者等交通量 (人/日)		22	鉄道交通量 (本/日)	61	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の歩道が未整備であり、通学路として利用している児童を含む歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	67	AとBの和	91	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	24				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

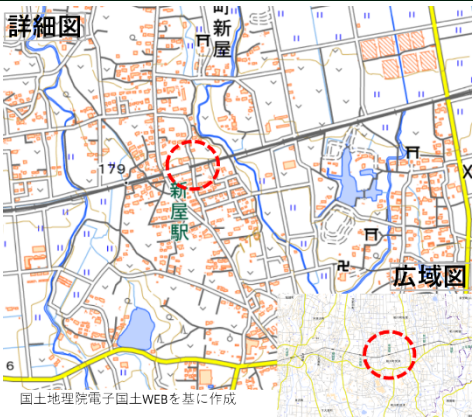
法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
幅=4.0m 車道 2.000 2.000 4.000 現況踏切 幅=9.5m 歩道 2.500 路肩 0.500 車道 2.750 車道 2.750 路肩 1.000 5.500 4.000 5.500 現況踏切 思川駅方 小山駅方 市道21号線	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	対策完了	○	R4	R5	R5		
	対策内容						
	・構造改良(踏切拡幅)(R5年度完了)						
	事業完了年度	対策の効果等					
R5	近隣自治会への聞き取りから、歩道設置により歩車分離が図れ、安全な通行環境が確保されたことを確認した。						
除却年度							
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	じょうもうせんだい60ごう	所在地	群馬県前橋市粕川町新屋235-1 地先		
踏切道名	上毛線第60号	道路名	市道21-5194号線	道路管理者名	前橋市
		鉄道路線名	上毛線	鉄道事業者名	上毛電気鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点																																																																																																	
詳細図  国土地理院電子国土WEBを基に作成 北側より南側へ撮影  広域図  <tr><td>踏切種別</td><td>第4種</td><td rowspan="4">幅員(m)</td><td>位置</td><td>歩道部 (起点寄)</td><td>車道</td><td colspan="2">歩道部 (終点寄)</td></tr> <tr><td>踏切長(m)</td><td>4.8</td><td>左道路</td><td>0.0</td><td>2.5</td><td colspan="2">0.0</td></tr> <tr><td>横断本数(本)</td><td>1</td><td>踏切道</td><td>0.0</td><td>1.8</td><td colspan="2">0.0</td></tr> <tr><td>交差角(度)</td><td>80</td><td>右道路</td><td>0.0</td><td>2.2</td><td colspan="2">0.0</td></tr> <tr><td rowspan="2">道路 線形</td><td>左道路</td><td>直線</td><td rowspan="5">迂 回 路</td><td>種類</td><td>有無等</td><td colspan="2">距離(m)</td></tr> <tr><td>右道路</td><td>直線</td><td>自動車</td><td>-</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td>交通規制</td><td colspan="2">二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止</td><td>歩行者</td><td>迂回路なし (200m以内)</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td>車両進入防護柵等</td><td colspan="2">-</td><td>バリアリ化</td><td>迂回路なし (200m以内)</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td>歩車道分離方法</td><td colspan="2">なし</td><td>バリアリ化 状況</td><td>-</td><td>DID地区</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td rowspan="2">踏切保 安設備</td><td>賢い踏切</td><td colspan="2">-</td><td colspan="2">踏切支障報知 装置(手動)</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td>高規格保安設備</td><td colspan="2">-</td><td colspan="2">高齢者等の事故防止 対策設備</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td rowspan="2">特性</td><td>通学路指定状況 (学校指定)</td><td colspan="2">-</td><td colspan="2">通学路交通安全プロ グラム</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td>バリアフリー法に 基づく特定道路上</td><td colspan="2">-</td><td colspan="2">緊急輸送道路上 重要物流道路上</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td colspan="2">自動車交通量 (台/日)</td><td colspan="2">3</td><td colspan="2">歩行者等交通量 (人/日)</td><td>10</td><td>鉄道交通量 (本/日)</td><td>70</td></tr>	踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		踏切長(m)	4.8	左道路	0.0	2.5	0.0		横断本数(本)	1	踏切道	0.0	1.8	0.0		交差角(度)	80	右道路	0.0	2.2	0.0		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		右道路	直線	自動車	-	-		交通規制	二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-		高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		自動車交通量 (台/日)		3		歩行者等交通量 (人/日)		10	鉄道交通量 (本/日)	70
	踏切種別	第4種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)																																																																																																
	踏切長(m)	4.8			左道路	0.0	2.5	0.0																																																																																																
	横断本数(本)	1			踏切道	0.0	1.8	0.0																																																																																																
	交差角(度)	80	右道路		0.0	2.2	0.0																																																																																																	
	道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)																																																																																																	
		右道路	直線		自動車	-	-																																																																																																	
	交通規制	二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-																																																																																																	
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-																																																																																																	
	歩車道分離方法	なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	-																																																																																																
	踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-																																																																																																	
		高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止 対策設備		-																																																																																																	
	特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-																																																																																																	
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-																																																																																																		
自動車交通量 (台/日)		3		歩行者等交通量 (人/日)		10	鉄道交通量 (本/日)	70																																																																																																

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数		踏切遮断機が設置されていない
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.12.23(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
南側から北側  北側から南側 		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		対策完了	○	-	R7	R7	
		対策内容					
		遮断器・警報機の設置					
		事業完了年度	対策の効果等				
		R7	踏切利用者の通行の安全性が向上。				
		除却年度					
		-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	じょうもうせんだい8ごう	所在地	群馬県前橋市城東町五-12-5 地先		
踏切道名	上毛線第8号	道路名	市道02-311号線	道路管理者名	前橋市
		鉄道路線名	上毛線	鉄道事業者名	上毛電気鉄道

位置図・現況写真

北側から撮影

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		5.1		左道路	0.0	1.8	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	1.8	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	1.8	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等		距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし		-	
交通規制		自動車の全面通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m 以内)		-	
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)		-	
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-		DID地区	○
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		-	
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		0	歩行者等交通量 (人/日)		52	鉄道交通量 (本/日)		72

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切遮断機が設置されていない
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

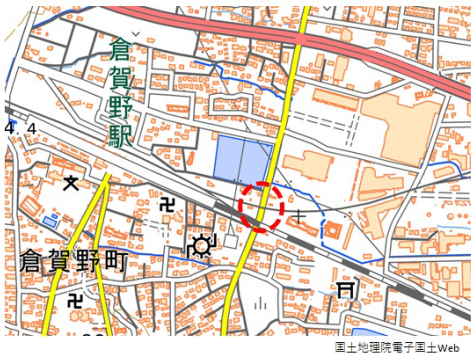
カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
南側より撮影		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R5	R5
対策内容						
遮断器・警報器の設置						
事業完了年度		対策の効果等				
R5		踏切利用者の通行の安全性が向上。				
除却年度						
-						
北側より撮影						

更新日：令和8年3月末

よみがな	なかざとかいどう	所在地	群馬県高崎市倉賀野2359		
踏切道名	中里街道	道路名	一般県道元島名倉賀野線	道路管理者名	群馬県
		鉄道路線名	高崎線	鉄道事業者名	日本貨物鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等				R3年9月末時点			
		踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
		踏切長(m)		6		左道路	0.0	6.0	0.0
		横断本数(本)		1		踏切道	0.0	6.0	0.0
		交差角(度)		90		右道路	0.0	6.0	0.0
道路 線形	左道路	直線		迂回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線			自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護欄等		設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		踏切道内の平滑化(連接軌道化等)		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		○		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		0		歩行者等交通量 (人/日)		0	鉄道交通量 (本/日)	47	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	8	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数	地域課題 通学路に指定されているが、歩道が未設置であり、車両と接触する恐れがある。	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,659	AとBの和	9,659	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車 [※] トレック踏切	歩行者 [※] トレック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

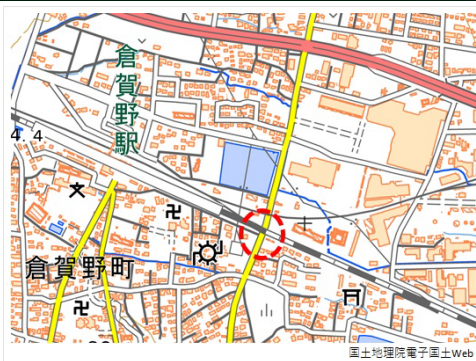
法指定の状況					R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第12号 （地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真	対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
	事業中	—	—	R1	R6
対策内容					
鉄道施設撤去（R6） 構造改良（踏切拡幅）（R7～） 指定から5年以内に事業完了予定のため、改良計画は提出対象外					
事業完了年度	対策の効果等				
—	—				
除却年度					
—					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

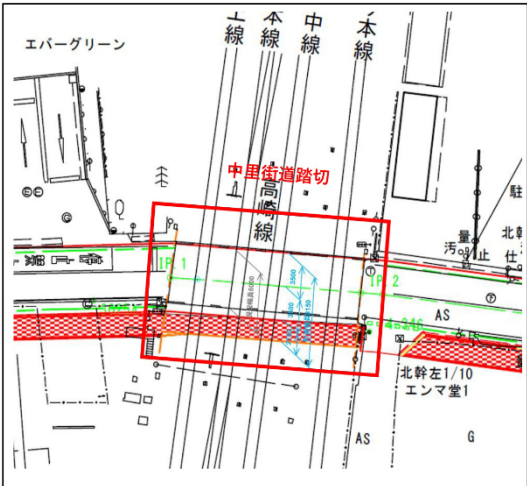
よみがな	なかさとかいどう	所在地	群馬県高崎市倉賀野2344-1		
踏切道名	中里街道	道路名	一般県道元島倉賀野線	道路管理者名	群馬県
		鉄道路線名	高崎線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 倉賀野駅 倉賀野町 国土地理院電子国土Web 県道起点側より撮影 県道終点側より撮影 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	20.9		左道路	0.0	5.2	0.0	
		横断本数(本)	4		踏切道	0.0	6.0	0.0	
		交差角(度)	90		右道路	0.0	5.2	0.0	
		道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
		車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
		歩車道分離方法	なし			バリアリ化状況	-	DID地区	○
		踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)		○	
高規格保安設備	障害物検知装置(レーザー式)		高齢者等の事故防止対策設備		踏切道内の平滑化(連接軌道化等)				
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム		○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-			
自動車交通量(台/日)		5,088		歩行者等交通量(人/日)		666	鉄道交通量(本/日)	266	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	通学路に指定されているが、歩道が未設置であり、車両と接触する恐れがある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	33,580	AとBの和	37,976		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,396				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		事業中	—	—	R1	R6
		対策内容				
		構造改良(踏切幅) (R6～) 指定から5年以内に事業完了予定のため、改良計画は提出対象外				
		事業完了年度	対策の効果等			
—	—					
除却年度						
—						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	よしいかわ	所在地	群馬県高崎市吉井町下長根120		
踏切道名	吉井川	道路名	市道 吉5179	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6.1		左道路	0.0	2.0	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	1.8	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	2.0	0.0	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共有り	1111		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全プロ グラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		12	歩行者等交通量 (人/日)		40	鉄道交通量 (本/日)	66	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

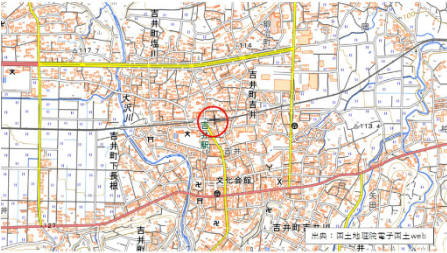
法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第6号(踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	注意喚起用路面標示設置（R6. 6月） 注意喚起標識交換、区画線施工（R6. 7月） 踏切遮断機設置（R7年度中）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	令和7年度に第1種化工事が完了したため、改良計画書の作成は不要。				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	よしいひがしこうない	所在地	群馬県高崎市吉井町吉井449-2		
踏切道名	吉井東構内	道路名	市道 吉5284	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
 	踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8		左道路	0.0	2.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	0.9	0.0	
	交差角(度)	90	迂回路	右道路	1.1	2.0	1.1	
	道路線形	左道路	直線	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	曲線	自動車	両方共有り	460		
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	-		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-			踏切支障報知装置(手動)	-	
		高規格保安設備	-			高齢者等の事故防止対策設備	-	
	特性	通学路指定状況(学校指定)	-			通学路交通安全プログラム	-	
		バリアフリー法に基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上重要物流道路上	-	
	自動車交通量(台/日)	0		歩行者等交通量(人/日)	64	鉄道交通量(本/日)	66	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	-1.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	令和8年度に第1種化工事を予定。 改良計画書は作成不要。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	第1種化工事を行うことにより歩行者やドライバーの安全性が飛躍的に向上する。 改良計画書は作成不要理由：令和8年度内に工事が完了するため。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	てんすい	所在地	群馬県高崎市吉井町小暮乙779-1		
踏切道名	天水	道路名	市道 吉4004・4005	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
	踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	6.1		左道路	0.0	4.0	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	2.1	0.0	
	交差角(度)	70		右道路	0.0	4.0	0.0	
	道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共有り	1817	
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
	歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
	踏切保 安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知 装置(手動)		-	
		高規格保安設備		-	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
	特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-	
		バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
	自動車交通量 (台/日)		0	歩行者等交通量 (人/日)		15	鉄道交通量 (本/日)	66

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	既設カーブミラー交換(R6.4月) 注意喚起用路面標示設置(R6.6月) 注意喚起標識交換、区画線施工(R6.7月) 踏切遮断機設置(R7年度中)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	令和7年度に第1種化工事が完了したため、改良計画書の作成は不要				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ほうしょうじ	所在地	群馬県高崎市根小屋町880-2		
踏切道名	宝性寺	道路名	市道 I502	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
 		踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
		踏切長(m)	6.1		左道路	0.0	2.8	0.0
		横断本数(本)	1		踏切道	0.0	1.5	0.0
		交差角(度)	90		右道路	0.0	2.8	0.0
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)
			右道路	直線		自動車	両方共有り	559
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-
		車両進入防護柵等		-		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区
		踏切保 安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知 装置(手動)		-	-
			高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止 対策設備		-	-
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-
自動車交通量 (台/日)		0		歩行者等交通量 (人/日)		35	鉄道交通量 (本/日)	66

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	検討中					
	対策内容					
	令和8年度に第1種化工事を予定。 改良計画書は作成不要。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	第1種化工事を行うことにより歩行者やドライバーの安全性が飛躍的に向上する。 改良計画書は作成不要理由：令和8年度内に工事が完了するため。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	やまな	所在地	群馬県高崎市山名町649-3		
踏切道名	山名	道路名	市道 I554	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6.1		左道路	0.0	2.0	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	1.8	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	2.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	起点寄有り	606		
交通規制		交通規制なし		歩行者	架道橋(と交差する道路)	184		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
踏切保安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)		-	
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止対策設備		-	
特性	通学路指定状況(学校指定)		-		通学路交通安全プログラム		-	
	バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-	
自動車交通量(台/日)		24	歩行者等交通量(人/日)		85	鉄道交通量(本/日)		66

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	注意喚起用路面標示設置（R6.6月） 停止線設置（R6.6月） 踏切遮断機設置（R7年度中）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	令和7年度に第1種化工事が完了したため、改良計画書の作成は不要。				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	たけい	所在地	群馬県高崎市吉井町馬庭282-1		
踏切道名	武井	道路名	市道 吉4127	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6.1		左道路	0.0	1.8	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	1.8	0.0	
交差角(度)		80		右道路	0.0	1.8	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	終点寄有り	1253		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		-		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		2	歩行者等交通量 (人/日)		40	鉄道交通量 (本/日)	66	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	対策内容					
	令和8年度に第1種化工事を予定。 改良計画書は作成不要。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	第1種化工事を行うことにより歩行者やドライバーの安全性が飛躍的に向上する。 改良計画書は作成不要理由：令和8年度内に工事が完了するため。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	おすいしよりじょう	所在地	群馬県高崎市新後閑町275-53		
踏切道名	污水处理場	道路名	市道 I287	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点								
踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)	6.1		左道路	0.0	2.0	0.0		
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	1.8	0.0		
交差角(度)	90		右道路	0.0	2.0	0.0		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共有り	111		
交通規制		二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止		歩行者	跨線橋	111		
車両進入防護柵等		-		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		0	歩行者等交通量 (人/日)		41	鉄道交通量 (本/日)		66

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

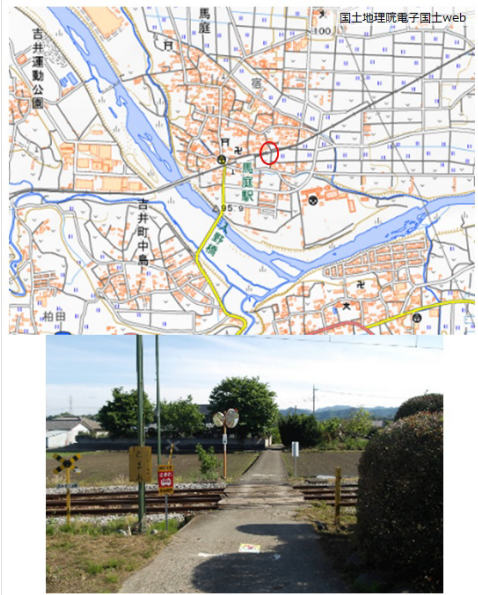
法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	
	対策内容					
	令和8年度に第1種化工事を予定。 改良計画書は作成不要。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	第1種化工事を行うことにより歩行者やドライバーの安全性が飛躍的に向上する。 改良計画書は作成不要理由：令和8年度内に工事が完了するため。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	まにわひがし	所在地	群馬県高崎市吉井町馬庭294		
踏切道名	馬庭東	道路名	市道 吉4123	道路管理者名	高崎市
		鉄道路線名	上信線	鉄道事業者名	上信電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
	踏切種別	第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	6.1		左道路	0.0	2.1	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	1.8	0.0	
	交差角(度)	80		右道路	0.0	2.4	0.0	
	道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	終点寄有り	1138	
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
	歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
	踏切 保安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知 装置(手動)		-	
		高規格保安設備		-	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
	特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-	
		バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
	自動車交通量 (台/日)		16	歩行者等交通量 (人/日)		5	鉄道交通量 (本/日)	66

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	保安施設の無い4種踏切のため、直前横断が発生している。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	注意喚起用路面標示設置（R6. 6月） 区画線設置（R6. 7月） 踏切遮断機設置（R7年度中）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	令和7年度に第1種化工事が完了したため、改良計画書の作成は不要。				
除却年度						
-						

更新日：令和8年3月末

対策図・完了写真	対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
	検討中	－	－	－	－
	対策内容				
	改良計画書作成の必要性も含めて検討中				
	事業完了年度	対策の効果等			
	－	－			
	除却年度				
	－				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	いせさきせんだい280ごう	所在地	群馬県明和町中谷地328-1地先		
踏切道名	伊勢崎線第280号	道路名	一般県道麦倉川俣停車場線	道路管理者名	群馬県
		鉄道路線名	伊勢崎線	鉄道事業者名	東武鉄道

位置図・現況写真

矢島 中谷 川俣新 大佐貫

特定道路
緊急輸送道路
農道・林道

国土地理電子国土Web

県道起点側より撮影

県道終点側より撮影

諸元・構造等

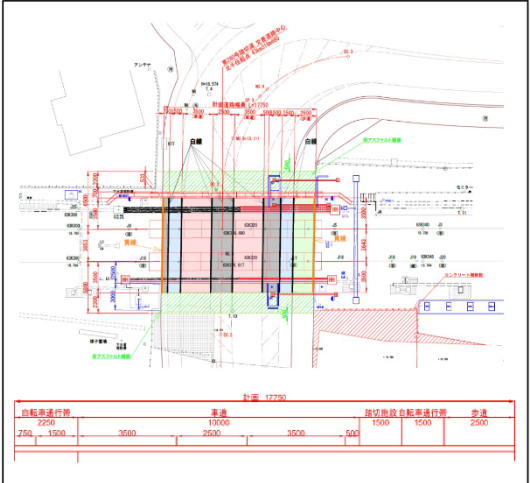
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.5		左道路	0.0	7.0	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	7.0	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	7.0	0.0	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		踏切道内の平滑化(連接軌道化等)		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		○		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		緊2次		
自動車交通量 (台/日)		5,776		歩行者等交通量 (人/日)		1,096		
				鉄道交通量 (本/日)		180		

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	17	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	通学路に指定されているが、歩道が未設置であり、車両と接触する恐れがある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	22,952	AとBの和	27,307		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,355				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	対策完了	-	-	R1	R6		
	対策内容						
	構造改良(踏切拡幅)(R6~R7)						
	事業完了年度	対策の効果等					
	R7						
除却年度							
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	あげおかいどう	所在地	埼玉県さいたま市北区日進町2丁目754地先		
踏切道名	上尾街道	道路名	市道32462号線	道路管理者名	さいたま市
		鉄道路線名	川越線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点																																																																																																	
詳細 広域  (現況)  <table><tr><td>踏切種別</td><td>第1種</td><td rowspan="4">幅員(m)</td><td>位置</td><td>歩道部 (起点寄)</td><td>車道</td><td colspan="2">歩道部 (終点寄)</td></tr><tr><td>踏切長(m)</td><td>10.5</td><td>左道路</td><td>3.5</td><td>9.0</td><td colspan="2">3.5</td></tr><tr><td>横断本数(本)</td><td>2</td><td>踏切道</td><td>3.0</td><td>5.1</td><td colspan="2">3.0</td></tr><tr><td>交差角(度)</td><td>80</td><td>右道路</td><td>4.9</td><td>9.1</td><td colspan="2">4.9</td></tr><tr><td rowspan="2">道路 線形</td><td>左道路</td><td>直線</td><td rowspan="9">迂回路</td><td>種類</td><td>有無等</td><td colspan="2">距離(m)</td></tr><tr><td>右道路</td><td>直線</td><td>自動車</td><td>両方共なし</td><td colspan="2">-</td></tr><tr><td>交通規制</td><td colspan="2">交通規制なし</td><td>歩行者</td><td>駅構内自由通路</td><td colspan="2">190</td></tr><tr><td>車両進入防護柵等</td><td colspan="2">設置していない</td><td>バリアリ化</td><td>駅構内自由通路</td><td colspan="2">190</td></tr><tr><td colspan="2">歩車道分離方法</td><td>コンクリートブロック</td><td>バリアリ化 状況</td><td>片側にエレベータ等</td><td>DID地区</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">踏切保 安設備</td><td>賢い踏切</td><td colspan="2">-</td><td colspan="2">踏切支障報知 装置(手動)</td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>高規格保安設備</td><td colspan="2">障害物検知装置(三次元レーザーレ ーダ式)</td><td colspan="2">高齢者等の事故防止 対策設備</td><td colspan="2">-</td></tr><tr><td rowspan="2">特性</td><td>通学路指定状況 (学校指定)</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">通学路交通安全プロ グラム</td><td colspan="2">-</td></tr><tr><td>バリアフリー法に 基づく特定道路上</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">緊急輸送道路上 重要物流道路上</td><td colspan="2">-</td></tr><tr><td colspan="2">自動車交通量 (台/日)</td><td colspan="2">6,303</td><td colspan="2">歩行者等交通量 (人/日)</td><td>4,059</td><td>鉄道交通量 (本/日)</td><td>163</td></tr></table>		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		踏切長(m)	10.5	左道路	3.5	9.0	3.5		横断本数(本)	2	踏切道	3.0	5.1	3.0		交差角(度)	80	右道路	4.9	9.1	4.9		道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		右道路	直線	自動車	両方共なし	-		交通規制	交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	190		車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	駅構内自由通路	190		歩車道分離方法		コンクリートブロック	バリアリ化 状況	片側にエレベータ等	DID地区	○	踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		高規格保安設備	障害物検知装置(三次元レーザーレ ーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-		バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		自動車交通量 (台/日)		6,303		歩行者等交通量 (人/日)		4,059	鉄道交通量 (本/日)	163
		踏切種別	第1種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)																																																																																															
		踏切長(m)	10.5			左道路	3.5	9.0	3.5																																																																																															
		横断本数(本)	2			踏切道	3.0	5.1	3.0																																																																																															
		交差角(度)	80	右道路		4.9	9.1	4.9																																																																																																
		道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)																																																																																																
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-																																																																																																
		交通規制	交通規制なし			歩行者	駅構内自由通路	190																																																																																																
		車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	駅構内自由通路	190																																																																																																
		歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	片側にエレベータ等	DID地区	○																																																																																															
		踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○																																																																																																
			高規格保安設備	障害物検知装置(三次元レーザーレ ーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-																																																																																																
		特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-																																																																																																
バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上			-																																																																																																		
自動車交通量 (台/日)		6,303		歩行者等交通量 (人/日)		4,059	鉄道交通量 (本/日)	163																																																																																																

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との幅員差(m)	-1.9	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	22,690	AとBの和	37,302		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	14,612				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	・踏切道内誘導表示の設置等(検討中) 改良計画書提出期限 令和8年3月31日 令和11年12月までに改良が完了するため未提出					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	みやはら いっちょうめ	所在地	埼玉県さいたま市北区東大成町2丁目636-2		
踏切道名	宮原一丁目	道路名	市道30274号線	道路管理者名	さいたま市
		鉄道路線名	高崎線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
詳細 広域  (現況) 国土地理院電子国土web 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	9.7		左道路	2.5	7.8	2.5	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	5.5	0.0	
		交差角(度)	90		右道路	0.0	7.9	0.0	
		道路 線形	左道路	曲線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	跨線橋	113	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	跨線橋	113	
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	両側にエレベーター等	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切		○	踏切支障報知 装置(手動)		○	
			高規格保安設備		大型遮断装置 障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
		自動車交通量 (台/日)		4,680	歩行者等交通量 (人/日)		2,282	鉄道交通量 (本/日)	320

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	35	前後歩道との幅員差(m)	-2.5		事故別	件数	死者数	地域課題	接続道路に比べて踏切道内の幅員が狭く、歩行空間が十分に確保されていないことから、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている。(R7.1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	32,292	AとBの和	48,038	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	15,746				道路交通事故	1	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	検討中					
	対策内容					
	改良計画書提出期限 令和9年3月31日					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	のだせんだい5ごう	所在地	埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4丁目199地先		
踏切道名	野田線第 5号	道路名	市道10348号線	道路管理者名	さいたま市
		鉄道路線名	野田線	鉄道事業者名	東武鉄道

位置図・現況写真

詳細図

広域図

現況

国土地理院 電子国土WEBを基に作成

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)	11.3		左道路	0.0	6.3	0.0		
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	5.4	0.0		
交差角(度)	68		右道路	2.5	7.3	0.0		
道路 線形	左道路	曲線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	-	-		
交通規制	上記以外の交通規制(一方通行、車幅による通行禁止等)			歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法	なし			バリアリ化状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知装置(手動)		#N/A	
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止対策設備		-	
特性	通学路指定状況(学校指定)		○		通学路交通安全プログラム		-	
	バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-	
自動車交通量(台/日)		4,374		歩行者等交通量(人/日)		2,059	鉄道交通量(本/日)	296

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	33	前後歩道との幅員差(m)	-2.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	接続道路に比べて踏切道内の幅員が狭く、歩行空間が十分に確保されていないことから、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている。(R7.12月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	26,244	AとBの和	38,598		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,354				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	○	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	対策内容					
	改良計画書提出期限 令和12年12月23日					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	うらわけんどう	所在地	埼玉県川越市大字並木179地先		
踏切道名	浦和県道	道路名	一般県道川越新座線	道路管理者名	埼玉県
		鉄道路線名	川越線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		8.2		左道路	0.0	6.2	1.6	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	8.6	1.5	
交差角(度)		57		右道路	0.0	6.2	2.4	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知 装置(手動)		○			
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全プロ グラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		12,571	歩行者等交通量 (人/日)		1,940	鉄道交通量 (本/日)	165	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との幅員差(m)	-0.9		事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	42,741	AとBの和	49,337	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,596			道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	検討中					
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(R8設置予定) 踏切改良計画書提出期限：R8.3.31 令和11年12月までに工事が完了見込みのため、改良計画書の提出無し。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ぎょうだしなんばー１	所在地	埼玉県行田市中央１２９－８地先		
踏切道名	行田市No. １	道路名	市道第5. 3-276号線	道路管理者名	行田市
		鉄道路線名	秩父本線	鉄道事業者名	秩父鉄道

位置図・現況写真

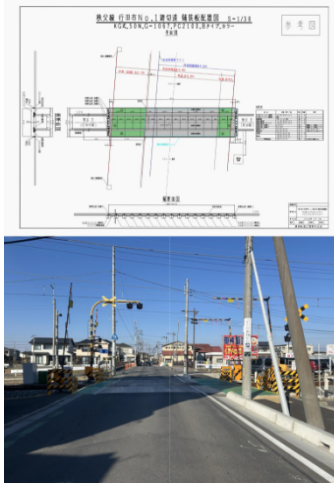


諸元・構造等				R3年9月末時点				
踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6		左道路	0.0	5.7	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	5.7	0.0	
交差角(度)		83		右道路	0.0	5.7	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		5,613		歩行者等交通量 (人/日)		1,910	鉄道交通量 (本/日)	104

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	8	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	7,858	AとBの和	10,532	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,674				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	R4	R5	R5
		対策内容				
		車道拡幅、歩道設置、踏切道内グリーンベルト設置(R6)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R6	踏切道及び前後市道の拡幅(歩道整備)を実施したことで、歩行者の安全な通行、車両の安全な通行により交通の円滑化に寄与した。また、踏切内にグリーンベルトを設置することで、視覚的にも歩車分離が図れた。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	おはなばたけなんぼー2	所在地	埼玉県秩父市東町1120-3地先		
踏切道名	御花畑No. 2	道路名	市道幹線51号線	道路管理者名	秩父市
		鉄道路線名	秩父本線	鉄道事業者名	秩父鉄道

位置図・現況写真



「国土地理院電子国土web」



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)	11		左道路	3.5	9.0	3.5		
横断本数(本)	2		踏切道	3.5	9.0	3.5		
交差角(度)	80		右道路	3.5	9.0	3.5		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	-		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		4,913		歩行者等交通量 (人/日)		6,431	鉄道交通量 (本/日)	92

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,335	AとBの和	21,554		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,219				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(検討中) 令和11年12月までに改良が完了する予定の為、改良計画書を提出しない					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

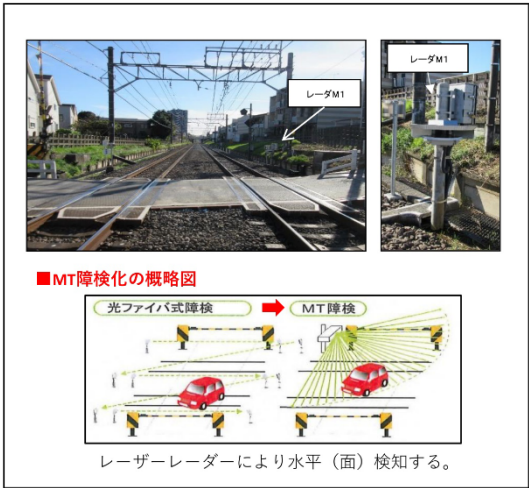
よみがな	ひがしむらやまだいろうこう	所在地	埼玉県所沢市大字北秋津146		
踏切道名	東村山第6号	道路名	市道第1-544号線	道路管理者名	所沢市
		鉄道路線名	新宿線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 国土地理院電子国土web		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	9.1		左道路	0.0	4.0	0.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	3.6	0.0	
		交差角(度)	80		右道路	0.0	3.0	0.0	
		道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
		車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
		歩車道分離方法	なし			バリアリ化状況	-	DID地区	○
		踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○		
			高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-		
		特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	-		
			バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-		
		自動車交通量(台/日)		1,603		歩行者等交通量(人/日)	1,276	鉄道交通量(本/日)	366

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	21	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	8,015	AとBの和	14,395		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,380				道路交通事故	1	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
 ■MT障検化の概略図 レーザーレーダーにより水平(面)検知する。		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R4	R4
		対策内容				
		・踏切支障検知装置の高機能化(R4)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R4	障害物検知装置を高規格化し、平面的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全が向上した。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

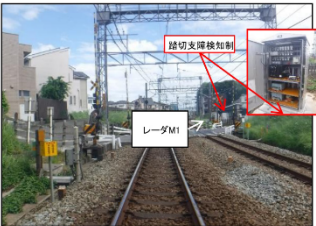
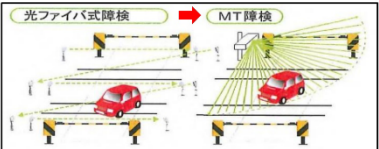
よみがな	にしところざわだいさんごう	所在地	埼玉県所沢市上新井5丁目29-14		
踏切道名	西所沢第3号	道路名	市道4-37号線	道路管理者名	所沢市
		鉄道路線名	池袋線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 国土地理院電子国土web		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	16		左道路	1.0	6.0	1.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
		交差角(度)	40		右道路	0.0	5.0	0.0	
		道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	跨線橋	110	
		車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法	なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切	○			踏切支障報知 装置(手動)	○	
高規格保安設備	障害物検知装置(光式)			高齢者等の事故防止 対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-			通学路交通安全プロ グラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)		676		歩行者等交通量 (人/日)		463	鉄道交通量 (本/日)	526	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	29	前後歩道との幅員差(m)	-1.0		事故別	件数	死者数		付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	5,408	AとBの和	9,112	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,704				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.12.16(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点		
 ■MT障検化の概略図  レーザーレーダーにより水平（面）検知する。	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度			
	対策完了	○	-	R4	R4			
	対策内容							
	・踏切支障検知装置の高機能化（R5）							
	事業完了年度	対策の効果等						
R4	障害物検知装置を高規格化し、平面的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全が向上した。							
除却年度								
-								

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	はんのうだいにごう	所在地	埼玉県飯能市大字川寺158-1		
踏切道名	飯能第2号	道路名	市道1-1-1号線	道路管理者名	飯能市
		鉄道路線名	池袋線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真



位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点		
踏切種別		第1種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		5.8			左道路	0.0	5.4	0.4		
横断本数(本)		1			踏切道	0.0	7.4	0.0		
交差角(度)		75			右道路	0.0	3.8	0.9		
道路 線形	左道路	曲線		迂回 路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	曲線			自動車	-	-			
交通規制		大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		-			バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-			
歩車道分離方法		なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		#N/A			
	高規格保安設備		支障報知装置(降梯)		高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		5,221		歩行者等交通量 (人/日)		3,313	鉄道交通量 (本/日)		188	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との幅員差(m)	-0.9		事故別	件数	死者数		当該踏切付近には高齢者福祉施設があり、高齢者等の利用も多く、通行の安全性を高める必要がある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	20,884	AとBの和	34,136	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	13,252			道路交通事故	-	-			

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	令和10年12月23日	-	-	
	対策内容					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	はにゅうなんばー22	所在地	埼玉県羽生市大字上新郷字上恵土1903-3地先		
踏切道名	羽生No. 22	道路名	市道1200号線	道路管理者名	羽生市
		鉄道路線名	秩父本線	鉄道事業者名	秩父鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等

諸元・構造等						R3年9月末時点			
踏切種別		第4種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		19			左道路	0.0	2.0	0.0	
横断本数(本)		2			踏切道	0.0	2.0	0.0	
交差角(度)		90			右道路	-	-	-	
道路 線形	左道路	曲線		迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	#N/A			自動車	両方共なし	-		
交通規制		自動車の全面通行禁止 <th>歩行者</th> <td>迂回路なし (200m 以内)</td> <td colspan="3">-</td>			歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない <th>バリアリ化</th> <td>迂回路なし (200m 以内)</td> <td colspan="3">-</td>			バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし <th>バリアリ化 状況</th> <td>-</td> <td>DID地区</td> <td colspan="2">-</td>			バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		0		歩行者等交通量 (人/日)		34	鉄道交通量 (本/日)	100	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	0	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	通学路に指定されている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	1	1		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第6号(踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R3	R3	
	対策内容					
	警報機・警報灯・遮断機等					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R3	無理な横断がなくなり、安全性が向上した。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しばの	所在地	埼玉県深谷市国済寺312-12		
踏切道名	芝野	道路名	市道F-528号線	道路管理者名	深谷市
		鉄道路線名	高崎線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

国土地理院電子国土Web

現況のみ

諸元・構造等

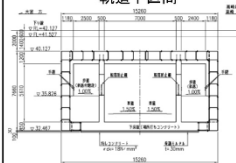
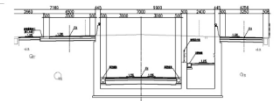
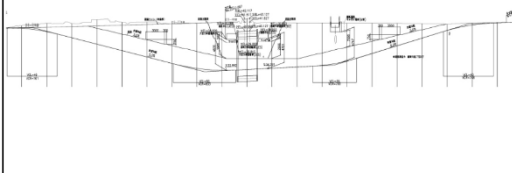
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.7		左道路	0.0	5.0	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	5.0	0.0	
交差角(度)		43		右道路	0.0	5.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		2,492		歩行者等交通量 (人/日)		993	鉄道交通量 (本/日)	227

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	16	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 鉄道と道路の交差角が小さい「ななめ」踏切であり、自動車の相互通行や歩行者の安全な通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	8,223	AとBの和	11,500		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,277				道路交通事故	1	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
横断面図 軌道下区間  アプローチ区間  縦断面図 	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	-	H29	H30	
	対策内容					
	単独立体交差（H29～） 改良計画書提出期限：令和9年3月31日 （令和5年3月6日提出済）					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	いるましだいいちごう	所在地	埼玉県入間市鍵山2丁目9-20		
踏切道名	入間市第1号	道路名	市道幹23号線	道路管理者名	入間市
		鉄道路線名	池袋線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

高倉

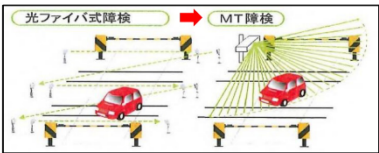
高倉

高倉</

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	17	前後歩道との幅員差(m)	-1.0		事故別	件数	死者数	付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	34,857	AとBの和	38,078	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,221				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

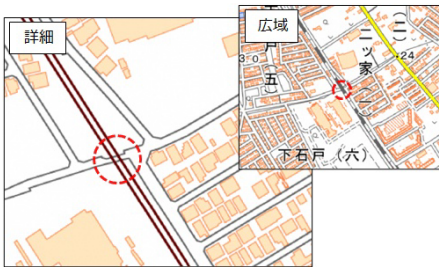
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
 水平検知レーダー ■MT障検化の概略図  レーザーレーダーにより水平(面)検知する。		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	-	R3
		対策内容				
		・踏切支障検知装置の高機能化(R4)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R4	踏切道内を線で検知する障害物検知装置を高規格化し、平面的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全が向上した。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	いしどした	所在地	埼玉県北本市ニッ谷1丁目172		
踏切道名	石戸下	道路名	市道3269号線	道路管理者名	北本市
		鉄道路線名	高崎線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

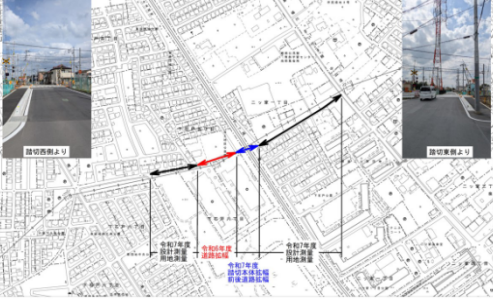
R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)	9.8		左道路	0.0	4.9	0.0
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.3	0.0
交差角(度)	73		右道路	0.0	5.0	0.0
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	起点寄有り	840
交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-
車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-
歩車道分離方法	なし			バリアリ化 状況	-	DID地区
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○	
	高規格保安設備	障害物検知装置(レーザー式)		高齢者等の事故防止 対策設備	踏切道内の平滑化(連接軌道化等)	
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム	-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
自動車交通量 (台/日)	2,390		歩行者等交通量 (人/日)	1,151	鉄道交通量 (本/日)	320

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	23	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数		踏切幅員が狭く歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	11,950	AとBの和	17,705	踏切内の事故発生状況	踏切事故	1	1	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,755				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.1.21(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R5	R6	R6	
	対策内容					
	協定書締結(R6.2.27) 踏切本体の拡幅整備予定(R7.11月末) 踏切前後の市道の拡幅整備予定(R11.3月末)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	だいいちほんじょうかいどう	所在地	埼玉県美里町甘粕118-4		
踏切道名	第一本庄街道	道路名	主要地方道本庄寄居線	道路管理者名	埼玉県
		鉄道路線名	八高線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

</

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との幅員差(m)	-2.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の歩行者を避ける車両等の影響で、渋滞が発生する。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	6,975	AとBの和	7,044		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	69				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	R3	R4	R4	
	対策内容					
	・歩道整備(R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R4	・歩道設置により、歩車分離が図られ、安全な通行空間が確保された。 ・近隣自治会において、改良の効果の発現が確認されている。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	おいほま	所在地	千葉県千葉市中央区村田町864-3		
踏切道名	生浜	道路名	市道（村田町19号線）	道路管理者名	千葉市
		鉄道路線名	内房線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
詳細  国土地理院電子国土地web 	広域	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	9.4		左道路	0.0	3.3	0.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.7	0.0	
		交差角(度)	81		右道路	0.0	4.3	0.0	
		道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	架道橋（と交差する道路）	150	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし（200m以内）	-	
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-
		踏切保安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)	○	
			高規格保安設備		障害物検知装置（光式）		高齢者等の事故防止対策設備	-	
		特性	通学路指定状況（学校指定）		○		通学路交通安全プログラム	-	
			バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-	
		自動車交通量(台/日)		1,034	歩行者等交通量(人/日)		505	鉄道交通量(本/日)	183

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 ・踏切道内の幅員が狭く、すれ違いが困難なため、踏切拡幅が必要	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,136	AとBの和	6,156		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,020				道路交通事故	1	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R3.4.13（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		事業中	○	R6	R7	-
		対策内容				
		踏切道拡幅				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	まえばら4ごう	所在地	千葉県船橋市前原西3丁目27-10		
踏切道名	前原4号踏切	道路名	市道42-065号線	道路管理者名	船橋市
		鉄道路線名	京成松戸線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

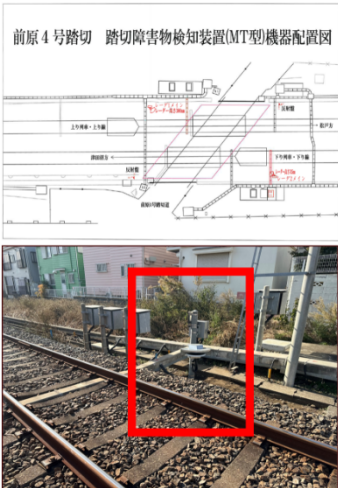
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		11.9		左道路	0.0	3.6	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	3.0	0.0	
交差角(度)		53		右道路	0.0	4.5	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	その他	115		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切			-	踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		-	高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		476	歩行者等交通量 (人/日)		920	鉄道交通量 (本/日)		268

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	1,856	AとBの和	5,444		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,588				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第7号(踏切支障報知装置が設置されていない)	-	-	-	-	

対策図・写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	前原4号踏切 踏切障害物検知装置(MT型)機器配置図	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	-	-	R6	R6
		対策内容				
		・障害物検知装置新設(20式)(R6)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R6	・障害物検知装置の設置により、踏切内公衆停留の検知が可能となり、事故未然防止効果が発現している			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かまがやだいぶつごう	所在地	千葉県船橋市二和東6丁目1		
踏切道名	鎌ヶ谷大仏2号踏切	道路名	市道00-008号線	道路管理者名	船橋市
		鉄道路線名	京成松戸線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

諸元・構造等					R3年9月末時点			
踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.2		左道路	0.0	6.0	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	5.5	0.0	
交差角(度)		63		右道路	0.0	6.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		8,769		歩行者等交通量 (人/日)		978	鉄道交通量 (本/日)	268

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	23	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	37,707	AとBの和	41,912		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,205				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.1.15(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	-	

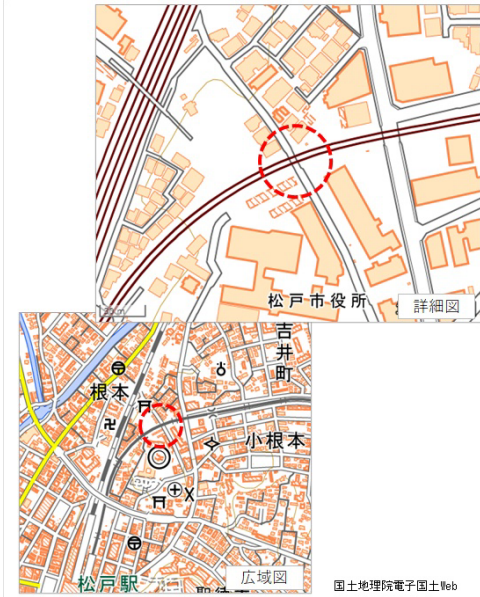
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		対策完了	-	-	R6	R6	
		対策内容					
		障害物検知装置新設(2D式)(R6)					
		事業完了年度	対策の効果等				
		R6	・障害物検知装置の設置により、踏切内公衆停留の検知が可能となり、事故未然防止効果が発現している				
		除却年度					
		-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	まつど2ごう	所在地	千葉県松戸市根本347-5		
踏切道名	松戸2号踏切	道路名	6地区254号	道路管理者名	松戸市
		鉄道路線名	京成松戸線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



国土地理院電子国土Web

諸元・構造等

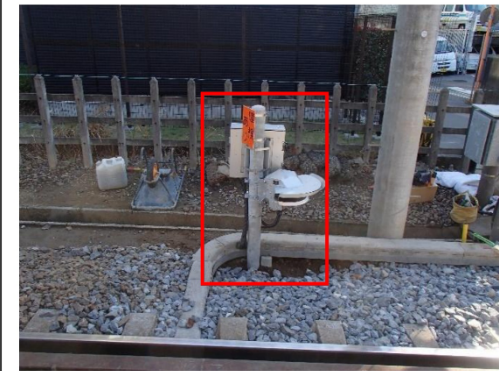
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.5		左道路	0.0	4.6	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
交差角(度)		84		右道路	0.0	4.9	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	その他	70		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		126		歩行者等交通量 (人/日)		1,038	鉄道交通量 (本/日)	276

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	18	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	416	AとBの和	3,841		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,425				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R5	R5	
	対策内容					
	障害物検知装置新設(20式)(R5)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R5	障害物検知装置の設置により、踏切内公衆停滞の検知が可能になり事故未然防止効果が発現している。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	まつど3ごう	所在地	千葉県松戸市竹ヶ花4-5-2		
踏切道名	松戸3号踏切	道路名	主要幹線1級市道31号	道路管理者名	松戸市
		鉄道路線名	京成松戸線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	9.4		左道路	1.4	8.2	1.4	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	10.1	0.0	
		交差角(度)	90		右道路	1.4	8.2	1.4	
		道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	架道橋(と交差する道路)	78	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
		歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化状況	-	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)	○	
			高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-	
		特性	通学路指定状況(学校指定)		-		通学路交通安全プログラム	-	
			バリアフリー法に基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上重要物流道路上	-	
自動車交通量(台/日)		7,088		歩行者等交通量(人/日)		2,703	鉄道交通量(本/日)	276	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	-1.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	25,517	AとBの和	35,248		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	9,731				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-

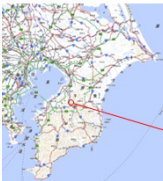
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	視覚障害者を安全に誘導し、踏切における列車との接触事故の防止を図る				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しもおきた	所在地	千葉県市原市馬立758-3		
踏切道名	下沖田	道路名	市道6035号線	道路管理者名	市原市
		鉄道路線名	小湊鉄道線	鉄道事業者名	小湊鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子図士



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第4種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6			左道路	0.0	3.0	0.0	
横断本数(本)		1			踏切道	0.0	3.2	0.0	
交差角(度)		90			右道路	0.0	3.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線		迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線			自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		-		
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		125		歩行者等交通量 (人/日)		296	鉄道交通量 (本/日)	58	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切が存在する箇所の学区に該当する戸田小学校、双葉中学校の指定通学路ではないが、踏切の規模にくらべ隣接する医療機関及び介護老人施設の利用者又は近隣住民の生活道路としての通行は多いと考えられる。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	-	AとBの和	-		踏切事故	1	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	-				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況					R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第6号 (踏切遮断機が設置されていない)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R5	R5
		対策内容				
		・自動遮断機設置 ・踏切支障報知器設置				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R5	自動遮断機、踏切警報機を設置することにより、事故発生を防止し、安心・安全なまちづくりに寄与する。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かまがやだいぶつ1ごう	所在地	千葉県鎌ヶ谷市鎌ヶ谷1-9-1		
踏切道名	鎌ヶ谷大仏1号踏切	道路名	市道4517号線	道路管理者名	鎌ヶ谷市
		鉄道路線名	京成松戸線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真







諸元・構造等				R3年9月末時点				
踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10		左道路	0.0	5.9	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	4.2	0.0	
交差角(度)		84		右道路	0.0	4.2	0.0	
道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	終点寄有り	250		
交通規制		交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	161		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
踏切保安設備	賢い踏切			-		踏切支障報知装置(手動)	○	
	高規格保安設備			-		高齢者等の事故防止対策設備	踏切道内の平滑化(連続軌道化等)、緩衝材によるレールと路面の境目解消、注意喚起看板の設置や路面表示	
特性	通学路指定状況(学校指定)			-		通学路交通安全プログラム	-	
	バリアフリー法に基づく特定道路上			-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-	
自動車交通量(台/日)		3,301		歩行者等交通量(人/日)		2,599	鉄道交通量(本/日)	268

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	12,214	AとBの和	21,830		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	9,616				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第7号(踏切支障報知装置が設置されていない)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R3	R3
		対策内容				
		障害物検知装置新設（2D式）（R3）				
		事業完了年度	対策の効果等			
R3	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	くらなみ	所在地	千葉県袖ヶ浦市蔵波1953-3		
踏切道名	蔵波	道路名	市道（蔵波1号線）	道路管理者名	袖ヶ浦市
		鉄道路線名	内房線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

左道路（南側）

右道路（北側）

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.8		左道路	0.0	5.6	3.6	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.6	3.5	
交差角(度)		76		右道路	0.0	9.9	3.8	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共有り	1480		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		2,710		歩行者等交通量 (人/日)		330	鉄道交通量 (本/日)	175

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との幅員差(m)	-0.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	11,653	AとBの和	13,072		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,419				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）						
R6.1.18（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
		-	-	R7	-		
	対策内容						
	踏切道内誘導表示の設置等（着工準備） 改良計画書提出期限 令和8年3月31日						
	事業完了年度	対策の効果等					
	-	-					
	除却年度						
	-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ひがしせきと	所在地	千葉県香取市佐原イ 8 8		
踏切道名	東関戸	道路名	市道Ⅱ-76号線	道路管理者名	香取市
		鉄道路線名	成田線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

・位置図



・現況写真



出典：国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		21		左道路	2.8	5.1	2.0	
横断本数(本)		3		踏切道	0.0	5.5	3.0	
交差角(度)		88		右道路	2.8	4.7	3.4	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	跨線橋	184		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(三次元レーザー レーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		5,815	歩行者等交通量 (人/日)		3,540	鉄道交通量 (本/日)	78	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	-2.8		事故別	件数	死者数		踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	12,793	AとBの和	20,581	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	7,788				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	作成不要	R7	-	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	こうりけんどう	所在地	千葉県神崎町郡長田1041-2		
踏切道名	郡県道	道路名	国道356号	道路管理者名	千葉県
		鉄道路線名	成田線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	5.8		左道路	0.0	5.6	0.0	
		横断本数(本)	1		踏切道	0.0	5.4	0.0	
		交差角(度)	48		右道路	0.0	5.4	0.0	
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
		踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○	
			高規格保安設備		二段型遮断装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
		自動車交通量 (台/日)	11,399		歩行者等交通量 (人/日)	724		鉄道交通量 (本/日)	65

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	法指定・学校指定の通学路であるが歩道はなく車道も狭い。歩行者が危険なので、拡幅してほしいとの地元要望がある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	13,678	AとBの和	14,547		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	869				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		事業中	○	R4	R5	R5
		対策内容				
		構造改良(拡幅) (R5～)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	たまがわ1ごう	所在地	東京都大田区田園調布1-53		
踏切道名	多摩川1号	道路名	大田区道2-107号線	道路管理者名	大田区
		鉄道路線名	東急多摩川線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
詳細 広域  国土地理院電子国土web 	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	8.5		左道路	1.3	4.5	1.5		
	横断本数(本)	2		踏切道	1.1	10.3	1.3		
	交差角(度)	77		右道路	3.5	8.0	2.1		
	道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
	交通規制		交通規制なし		歩行者	架道橋(と交差する道路)	115		
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)	○		
		高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-		
	特性	通学路指定状況(学校指定)		-		通学路交通安全プログラム	-		
		バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-		
	自動車交通量(台/日)		678		歩行者等交通量(人/日)		3,202	鉄道交通量(本/日)	36

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	32	前後歩道との幅員差(m)	-2.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	バス停留場からの入出庫により、踏切通行中に遮断機が下りてくることがある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,475	AとBの和	25,608		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	21,133				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	—	—	R4	R4	
	対策内容					
	・ 障害物検知装置高規格化（3D）（R4）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R4	踏切道内を線で検知する障害物検知装置を高規格化し、立体的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全を確保した。				
除却年度						
—						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ぬまべ1ごう	所在地	東京都大田区田園調布南18-11		
踏切道名	沼部1号	道路名	大田区道主要第52号線	道路管理者名	大田区
		鉄道路線名	東急多摩川線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
詳細 広域  国土地理院電子国土web  	踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
	踏切長(m)		8.4		左道路	1.6	6.8	1.9	
	横断本数(本)		2		踏切道	1.0	8.8	1.0	
	交差角(度)		90		右道路	1.5	7.1	2.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)		○	
		高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備		-	
	特性	通学路指定状況(学校指定)		-		通学路交通安全プログラム		-	
		バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-	
	自動車交通量(台/日)		1,025	歩行者等交通量(人/日)		2,233	鉄道交通量(本/日)	35	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	33	前後歩道との幅員差(m)	-1.0		事故別	件数	死者数	地域課題 交差点付近であることから、右左折車両により、踏切通行中に遮断機が下りてくることがある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	6,663	AとBの和	21,178	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	14,515				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
 		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	-	-	R4	R4
		対策内容				
		・障害物検知装置高規格化(3D)(R4)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R4	踏切道内を線で検知する障害物検知装置を高規格化し、立体的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全を確保した。			
		除却年度				
		-				

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	せんぞくいけ2ごう	所在地	東京都大田区東雪谷2-24-11		
踏切道名	洗足池2号	道路名	大田区道4-8号線	道路管理者名	大田区
		鉄道路線名	池上線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真

詳細

広域



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)	8.5		左道路	1.8	2.7	2.0
横断本数(本)	2		踏切道	0.9	3.0	1.4
交差角(度)	79		右道路	1.6	2.7	1.6
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共有り	100
交通規制	上記以外の交通規制(一方通行、車幅による通行禁止等)			歩行者	跨線橋	100
車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-
歩車道分離方法	カラー舗装、白線 黄線			バリアリ化 状況	-	DID地区
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○
	高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザレーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備	踏切道内の平滑化(連続軌道化等)、注意喚起看板の設置や路面表示
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-
自動車交通量 (台/日)	180		歩行者等交通量 (人/日)	9,039	鉄道交通量 (本/日)	459

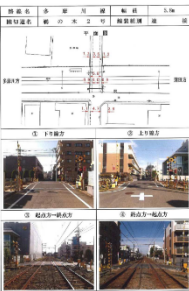
基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	39	前後歩道との幅員差(m)	-0.9	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	1,476	AとBの和	75,596		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	74,120				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	○	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	-	-	-	
	対策内容					
	・支障報知装置増設(H26) ・障害物検知装置高規格化(H27) 未指定の理由：踏切道周辺は密集市街地のため、拡幅用地の確保が難しく、抜本的な対策が困難であるため					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

更新日：令和8年3月末

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	—	—	R4	R4
	対策内容					
	・障害物検知装置高規格化（3D）（R4）					
	事業完了年度	対策の効果等				
R4	踏切道内を線で検知する障害物検知装置を高規格化し、立体的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全を確保した。					
除却年度						
—						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	くほんぶつ2ごう	所在地	東京都世田谷区奥沢8-36-8		
踏切道名	九品仏2号	道路名	区道33-C177号線	道路管理者名	世田谷区
		鉄道路線名	大井町線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点	
詳細 広域  国土地理院電子国土web 	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	9.4		左道路	1.4	5.9	1.7		
	横断本数(本)	2		踏切道	0.8	4.5	0.9		
	交差角(度)	90		右道路	1.5	5.8	1.5		
	道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	-	-		
	交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
	車両進入防護柵等	-			バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
	歩車道分離方法	白線 黄線			バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
	踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		#N/A	
		高規格保安設備		支障報知装置(降梯)		高齢者等の事故防止 対策設備		注意喚起看板の設置や路面表示	
	特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
		バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		572		歩行者等交通量 (人/日)		700	鉄道交通量 (本/日)	40	

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	40	前後歩道との幅員差(m)	-0.8		事故別	件数	死者数	地域課題	歩行者の交通量が多い
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	5,148	AとBの和	11,448	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,300				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.12.23(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		指定前	-	-	-	-
		対策内容				
		支障報知装置増設(H26) ゴム(鋼管)化(H30) 未指定の理由：⑤対策不要 抜本的対策は技術的に極めて困難だが、様々な安全対策を実施し、踏切に当面の大きな課題はないため。				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

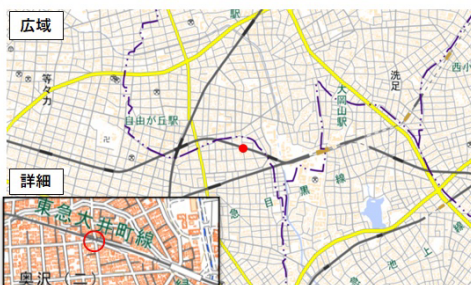
地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	みどりがおか1ごう	所在地	東京都世田谷区奥沢2-28-11		
踏切道名	緑が丘1号	道路名	区道33-A002号線	道路管理者名	世田谷区
		鉄道路線名	大井町線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真

広域



詳細



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

諸元・構造等				R3年9月末時点			
踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)	9.3		左道路	0.9	5.1	1.2	
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	3.8	0.0	
交差角(度)	65		右道路	1.1	5.0	1.0	
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	架道橋(と交差する道路)	100	
車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
歩車道分離方法	なし			バリアリ化状況	-	DID地区	-
踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)		○	
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備		非常押しボタンの増設・位置表示、全方位警報機の設置・警報機を低い位置に増設	
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム		-	
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-	
自動車交通量(台/日)	442	歩行者等交通量(人/日)		535	鉄道交通量(本/日)	39	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との幅員差(m)	-1.2		事故別	件数	死者数		付近に老人福祉施設及び障害者支援施設あり
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	3,006	AとBの和	6,644	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,638				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

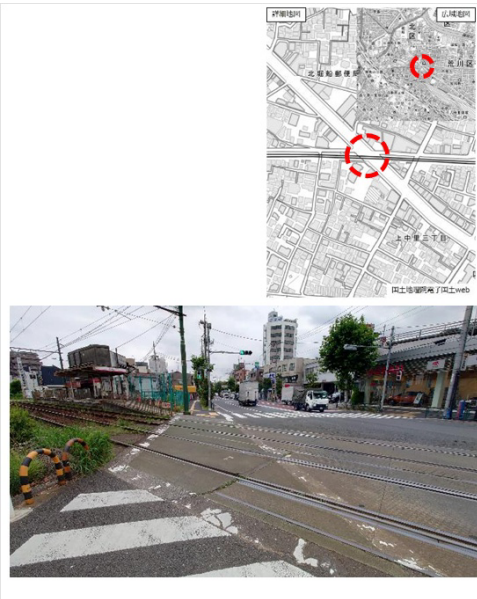
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R6	R6	
	対策内容					
	・支障報知装置増設(H26) ・障害物検知装置高規格化(R6)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R6	踏切障害物検知装置を高規格化することにより従来より踏切道に取り残された歩行者等の検知率が高まった。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かじわら	所在地	東京都北区堀船3-31-7		
踏切道名	梶原	道路名	主要地方道王子千住夢の島線	道路管理者名	東京都
		鉄道路線名	荒川線（軌）	鉄道事業者名	東京都（交通局）

位置図・現況写真



諸元・構造等				R3年9月末時点			
踏切種別		第4種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)		11.8		左道路	3.5	14.7	3.5
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	22.5	0.0
交差角(度)		42		右道路	3.5	14.7	3.5
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-	
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		-
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-
自動車交通量 (台/日)		26,556	歩行者等交通量 (人/日)		5,773	鉄道交通量 (本/日)	364

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	-	前後歩道との幅員差(m)	-3.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	歩行者等の交通量が多く、通行の安全性を確保する必要がある（令和7年1月末時点）
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	-	AとBの和	0		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R6.1.18（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	R7	-	-	
	対策内容					
	・踏切道内誘導表示の設置等（検討中）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かじわら	所在地	東京都北区上中里2-35		
踏切道名	梶原	道路名	特別区道北50号	道路管理者名	北区
		鉄道路線名	東北線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)	24.5		左道路	0.0	4.4	0.0
横断本数(本)	6		踏切道	1.2	4.1	1.0
交差角(度)	80		右道路	0.0	6.0	0.0
道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-
交通規制	大型車の通行禁止	歩行者		跨線橋	10	
車両進入防護柵等	その他	バリア化		跨線橋	10	
歩車道分離方法	カラー舗装	バリア化 状況		片側にエレベータ等	DID地区	-
踏切保 安設備	賢い踏切	○	踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備	大型遮断装置 オーバハング型警報装置 障害物検知装置(レーザー式)	高齢者等の事故防止 対策設備	注意喚起看板の設置や路面表示		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○(対応済)	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)	367	歩行者等交通量 (人/日)	6,176	鉄道交通量 (本/日)	410	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	43	前後歩道との幅員差(m)	1.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	3,303	AとBの和	58,887		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	55,584				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
○	-	○	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R6.1.18（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	指定前	○	R7	-	-	
	対策内容					
	未指定の理由：踏切周辺は家屋が連担しており、地元との合意形成の上での除却または立体交差化は困難。現状でできる対策としての踏切内カラー舗装及び、踏切手前の誘導ブロックの設置も実施しており、当面、更なる対策の実施は困難。踏切内部については今後、道路の移動円滑化に関するガイドラインに基づいた誘導表示の設置により、鉄道事業者と協議の上、バリアフリー対策を行う。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	につぼりどう	所在地	東京都荒川区西日暮里５－２		
踏切道名	日暮里道	道路名	特例都道駒込宮地線	道路管理者名	東京都
		鉄道路線名	常磐線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		16.7		左道路	2.8	8.8	2.9	
横断本数(本)		2		踏切道	2.9	18.8	2.9	
交差角(度)		36		右道路	2.7	8.9	2.7	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		10,260		歩行者等交通量 (人/日)		9,126	鉄道交通量 (本/日)	25

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	0.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	歩行者等の交通量が多く、通行の安全性を確保する必要がある (令和7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,234	AとBの和	17,447		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	8,213				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
－	－	－	－	－	－	－	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	－	－	－	－	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	R7	－	－	
	対策内容					
	・踏切道内誘導表示の設置等(検討中)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	－	－				
	除却年度					
	－					

更新日：令和8年3月末

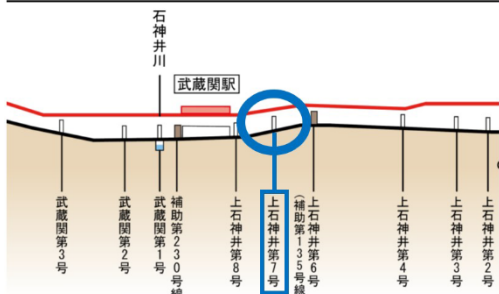
対策図：完了写真

広域



事業区間 約5.1km

事業区間 約5.1km



石神井川

武蔵関駅

上石神井第7号
(補助第135号線)

上石神井第6号

上石神井第4号

上石神井第3号

上石神井第2号

上石神井第8号

補助第230号線

武蔵関第1号

武蔵関第2号

武蔵関第3号

対策実施の状況				R8年3月末時点	
進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
事業中	○	R2	R5	-	
対策内容					
・連続立体交差（R5都市計画事業認可）					
事業完了年度		対策の効果等			
-					
除却年度		-			
-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいたかさごだいごう	所在地	東京都葛飾区高砂5-55-16		
踏切道名	京成高砂第3号	道路名	区道676号	道路管理者名	葛飾区
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)	18.3		左道路	2.0	3.4	1.1
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	3.5	0.0
交差角(度)	39		右道路	1.3	4.7	2.0
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-
交通規制	自動車の全面通行禁止			歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-
車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-
歩車道分離方法	なし			バリアリ化 状況	-	DID地区
踏切保 安設備	賢い踏切	○	踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)	0	歩行者等交通量 (人/日)	2,684	鉄道交通量 (本/日)	442	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	33	前後歩道との幅員差(m)	-2.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	円滑な道路交通の妨げになっている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	19,593		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	19,593				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	検討中					
	対策内容					
	改良計画書提出期限 令和9年3月31日 連続立体交差(R4着工準備)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいいたかさごだい7ごう	所在地	東京都葛飾区鎌倉3-51-12		
踏切道名	京成高砂第7号	道路名	区道葛28号	道路管理者名	葛飾区
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.9		左道路	0.0	6.3	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	7.0	0.0	
交差角(度)		49		右道路	0.0	6.1	0.0	
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		上記以外の交通規制(一方通行、車輪による通行禁止等)		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○			
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)		2,950		歩行者等交通量(人/日)		1,639	鉄道交通量(本/日)	442

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	31	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	円滑な道路交通の妨げになっている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	21,535	AとBの和	33,500		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	11,965				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	検討中					
	対策内容					
	改良計画書提出期限 令和9年3月31日 連続立体交差(R4着工準備)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいとかさごだい8ごう	所在地	東京都葛飾区鎌倉3-57-1		
踏切道名	京成高砂第8号	道路名	区道453号	道路管理者名	葛飾区
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.6		左道路	0.8	2.3	0.8	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	2.1	0.0	
交差角(度)		54		右道路	0.0	2.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		二輪自動車、農耕用車両、軽自動車以外の自動車の通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)		○		
	高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム		-		
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-		
自動車交通量(台/日)		0	歩行者等交通量(人/日)		1,995	鉄道交通量(本/日)		442

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との幅員差(m)	-0.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	円滑な道路交通の妨げになっている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	12,968		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,968				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

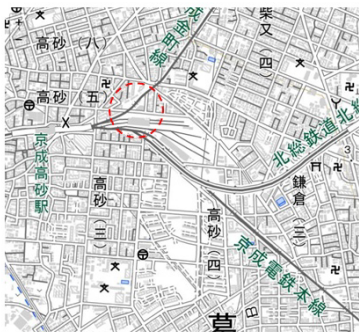
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	-	-	-	-	-
	対策内容					
	改良計画書提出期限：令和9年3月31 連続立体交差(R4着工準備)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいとかさご（かな）だいごう	所在地	東京都葛飾区高砂５－５５－３		
踏切道名	京成高砂（金）第３号	道路名	区道630号	道路管理者名	葛飾区
		鉄道路線名	金町線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)	7.4		左道路	1.5	2.5	1.5		
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	4.9	0.0		
交差角(度)	48		右道路	1.5	2.5	1.5		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制	大型車の通行禁止			歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等	設置していない			バリア化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法	なし			バリア化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザー レーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		549		歩行者等交通量 (人/日)		2,248	鉄道交通量 (本/日)	2

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	5	前後歩道との幅員差(m)	-1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	円滑な道路交通の妨げになっている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	55	AとBの和	280		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	225				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	対策内容					
	改良計画書提出期限：令和9年3月31 連続立体交差(R4着工準備)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいいたかさご（かな）だい４ごう	所在地	東京都葛飾区高砂５－５０－１０		
踏切道名	京成高砂（金）第４号	道路名	区道葛351号	道路管理者名	葛飾区
		鉄道路線名	金町線	鉄道事業者名	京成電鉄

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		11.3		左道路	1.7	5.9	2.1	
横断本数(本)		2		踏切道	2.3	5.5	1.3	
交差角(度)		47		右道路	1.0	5.6	2.3	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(3次元レーザーレーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		6,203	歩行者等交通量 (人/日)		4,151	鉄道交通量 (本/日)	180	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	-1.0		事故別	件数	死者数		円滑な道路交通の妨げになっている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	27,914	AとBの和	46,593	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	18,680			道路交通事故	-	-			

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	-
	検討中					-
	対策内容					
	改良計画書提出期限：令和9年3月31 連続立体交差(R4着工準備)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいいたかさご（かな）だいごう	所在地	東京都葛飾区柴又１－１９－７			
踏切道名	京成高砂（金）第５号	道路名	区道葛102号	道路管理者名	葛飾区	
		鉄道路線名	金町線	鉄道事業者名	京成電鉄	

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
 国土地理院電子国土web 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	8.1		左道路	0.0	5.2	0.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	8.0	0.0	
		交差角(度)	90		右道路	0.0	6.1	2.1	
		道路 線形	左道路	曲線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		その他		バリアリ化 状況	-	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○	
			高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
		自動車交通量 (台/日)	1,488		歩行者等交通量 (人/日)	3,756		鉄道交通量 (本/日)	180

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との幅員差(m)	-2.1		事故別	件数	死者数		円滑な道路交通の妨げになっている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	6,994	AとBの和	24,647	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	17,653			道路交通事故	-	-			

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	対策内容					
	改良計画書提出期限：令和9年3月31 連続立体交差(R4着工準備)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	けいせいこいわだい2ごう	所在地	東京都江戸川区北小岩5-5-1		
踏切道名	京成小岩第2号	道路名	区道301-0530号	道路管理者名	江戸川区
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	京成電鉄

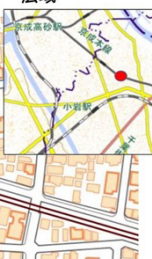
位置図・現況写真

詳細



国土地理院電子国土web

広域



(現況)



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		9.6		左道路	0.0	5.5	0.0		
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	2.4	0.0		
交差角(度)		90		右道路	0.0	5.8	0.0		
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		自動車の全面通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
踏切保 安設備	賢い踏切	○			踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	-			高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-			通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		0		歩行者等交通量 (人/日)		4,074	鉄道交通量 (本/日)	442	

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	円滑な道路交通の妨げになっている（R4年12月末時点）
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	26,074		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	26,074				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	-	-	-	
	対策内容					
	・連続立体交差（着工準備採択R4～） ・改良計画書提出期限 令和9年3月31日					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ひがしふちゅう3ごう	所在地	東京都府中市八幡町3-1-1		
踏切道名	東府中3号	道路名	市道4-48号	道路管理者名	府中市
		鉄道路線名	京王線	鉄道事業者名	京王電鉄

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		8.1		左道路	0.5	3.9	0.6	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	3.9	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	5.5	1.3	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共有り	400		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	架道橋(と交差する道路)	180		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
踏切保安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	踏切道内の平滑化(連続軌道化等)、注意喚起看板の設置や路面表示		
特性	通学路指定状況(学校指定)		-		通学路交通安全プログラム	-		
	バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-		
自動車交通量(台/日)		329		歩行者等交通量(人/日)		3,447	鉄道交通量(本/日)	474

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	26	前後歩道との幅員差(m)	-1.3		事故別	件数	死者数	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	2,107	AとBの和	24,180	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	22,074				道路交通事故	-	-	
								-

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R3	R3	
	対策内容					
	・障害物検知装置更新(高規格化)(R3)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R3	障害物検知装置を高規格化することで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高めることにより、通行の安全性を向上した。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	とびたきゅう9ごう	所在地	東京都府中市白糸台5-15-1		
踏切道名	飛田給9号	道路名	市道2-211	道路管理者名	府中市
		鉄道路線名	京王線	鉄道事業者名	京王電鉄

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.3		左道路	0.0	3.5	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	3.5	0.0	
交差角(度)		61		右道路	0.0	3.6	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共有り	50		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	架道橋(と交差する道路)	60		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	架道橋(と交差する道路)	60		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	両側にスロープ	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		92	歩行者等交通量 (人/日)		774	鉄道交通量 (本/日)		472

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	25	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	624	AとBの和	5,887		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,263				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R4	R4	
	対策内容					
	・障害物検知装置更新(高規格化)(R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R4	障害物検知装置を高規格化することで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高めることにより、通行の安全性を向上した。				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ちょうふ14ごう	所在地	東京都調布市下石原2-64		
踏切道名	調布14号	道路名	市道W159号線	道路管理者名	調布市
		鉄道路線名	京王線	鉄道事業者名	京王電鉄

位置図・現況写真

広域

詳細

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

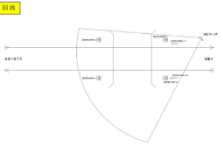
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		8		左道路	0.0	3.5	0.5	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	3.1	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	3.6	0.5	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共有り	400		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		277		歩行者等交通量 (人/日)		1,186	鉄道交通量 (本/日)	470

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	26	前後歩道との幅員差(m)	-0.5		事故別	件数	死者数		付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	1,936	AとBの和	10,238	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	8,302				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

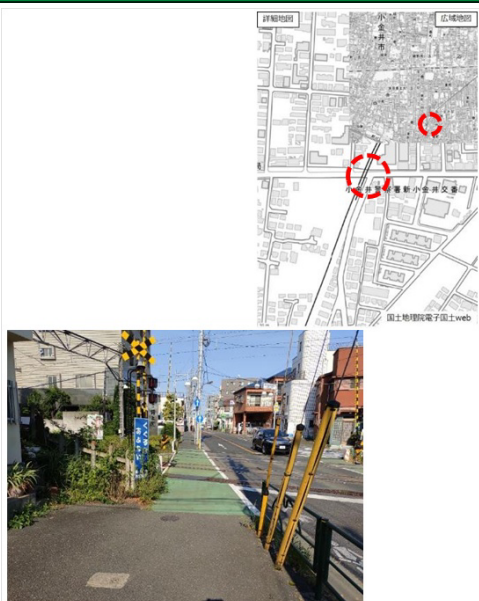
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
 	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R4	R4	
	対策内容					
	・障害物検知装置更新(高規格化)(R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R4	-				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しんこがねいだいにごう	所在地	東京都小金井市東町1丁目37-16		
踏切道名	新小金井第2号	道路名	一般都道恋ヶ窪新田三鷹線	道路管理者名	東京都
		鉄道路線名	多摩川線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.1		左道路	1.8	6.6	1.1	
横断本数(本)		2		踏切道	2.1	10.2	1.3	
交差角(度)		67		右道路	6.0	6.1	1.4	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		上記以外の交通規制(一方通行、 車幅による通行禁止等)		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		9,179		歩行者等交通量 (人/日)		3,675	鉄道交通量 (本/日)	178

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	10	前後歩道との幅員差(m)	-3.9	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	歩行者等の交通量が多く、通行の安全性を確保する必要がある（令和7年1月末時点）
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	25,701	AとBの和	35,991		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	10,290				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

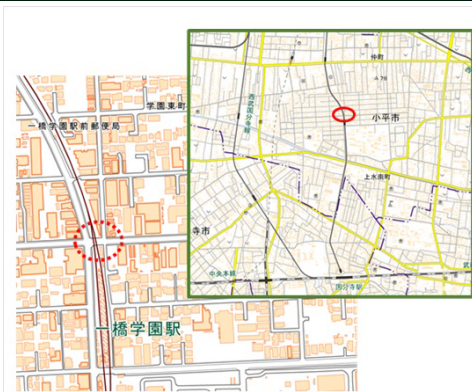
法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	R7	-	-	
	対策内容					
	・踏切道内誘導表示の設置等(検討中)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

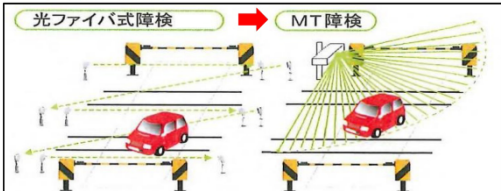
よみがな	ひとつしがくえんだいいちごう	所在地	東京都小平市学園東町1丁目1-12		
踏切道名	一橋学園第1号	道路名	市道第D-7号線	道路管理者名	小平市
		鉄道路線名	多摩湖線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点			
 橋学園駅 国土地理院電子国土web 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
		踏切長(m)	8		左道路	1.5	6.1	1.5		
		横断本数(本)	2		踏切道	1.1	9.0	1.6		
		交差角(度)	80		右道路	1.5	6.1	1.5		
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
		交通規制	上記以外の交通規制(一方通行、 車幅による通行禁止等)	歩行者		迂回路なし (200m 以内)	-			
		車両進入防護柵等	設置していない	バリアリ化		迂回路なし (200m 以内)	-			
		歩車道分離方法	カラー舗装	バリアリ化 状況		-	DID地区	○		
		踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
			高規格保安設備	障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		踏切道内の平滑化(連続軌道化等) 注意 喚起看板の設置や路面表示、全方位監視機 の設置、警報機を低い位置に増設		
		特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		
			バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		4,594	歩行者等交通量 (人/日)		6,672	鉄道交通量 (本/日)	206			

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との幅員差(m)	-0.4		事故別	件数	死者数		付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	16,079	AとBの和	39,431	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	23,352				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.12.16(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
■起点方から終点方を望む当該踏切写真		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R4	R4
		対策内容				
		・踏切支障検知装置の高機能化（R4）				
■MT障検化の概略図		事業完了年度	対策の効果等			
		R4	障害物検知装置を高規格化し、平面的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全が向上した。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	おがわだいじゅうさんごう	所在地	東京都小平市小川町1-2488		
踏切道名	小川第13号	道路名	市道第A-14号線	道路管理者名	小平市
		鉄道路線名	拝島線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

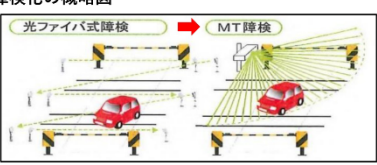
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		8.8		左道路	6.5	9.0	6.5	
横断本数(本)		2		踏切道	1.3	10.0	1.3	
交差角(度)		90		右道路	3.7	9.0	3.8	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切	-			踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備	障害物検知装置 (20式)			高齢者等の事故防止 対策設備	その他		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-			通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		6,697		歩行者等交通量 (人/日)		2,358	鉄道交通量 (本/日)	240

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との幅員差(m)	-5.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	交差点付近であることから、右左折車両により、踏切通行中に遮断機が降りてくることがある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	25,449	AとBの和	34,409		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	8,960				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R3.4.13(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
 レーザーレーダーにより水平(面)検知する。 ■MT障検化の概略図 		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	○	-	R3	R3
		対策内容				
		・踏切支障検知装置の高機能化(R3)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R3	当該踏切は、交差点付近にあり右左折車両が踏切内に滞留しやすい構造であった。障害物検知装置を高規格化し、平面的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された自動車だけでなく、二輪車や歩行者等の検知率を高めることが可能となり、通行の安全が向上した。			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	やさかだいさんごう	所在地	東京都東村山市廻田町2丁目26-20		
踏切道名	八坂第3号	道路名	市道第79号線1	道路管理者名	東村山市
		鉄道路線名	多摩湖線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

東村山市

東村山駅

西武多摩湖線

出典：地理院地図

■ 特定道路 ■ 重要物流道路（代替・補完路）

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		12.7		左道路	0.6	5.5	0.9	
横断本数(本)		2		踏切道	0.6	6.2	0.6	
交差角(度)		50		右道路	0.6	4.7	0.7	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		1,689		歩行者等交通量 (人/日)		636	鉄道交通量 (本/日)	164

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	-0.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当該箇所周辺は複数の社会福祉施設があり、高齢者・障害者の利用が多数の状況となっていることから、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、事故を未然に防ぐ必要がある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	3,716	AとBの和	5,115		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,399				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第10号 (高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	R8	R6	-	
	対策内容					
	障検高機能化（未定） 踏切道改良計画書（R9.3.31）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	こいだいらだいよんごう	所在地	東京都東村山市萩山町1丁目3-13		
踏切道名	小平第4号	道路名	一般都道保谷狭山自然公園自転車道線	道路管理者名	東京都
		鉄道路線名	拝島線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		11.7		左道路	3.6	0.0	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
交差角(度)		46		右道路	3.6	0.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		自動車の全面通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		0		歩行者等交通量 (人/日)		6,489	鉄道交通量 (本/日)	228

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	-3.6	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	歩行者等の交通量が多く、通行の安全性を確保する必要がある（令和7年1月末時点）
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	29,849		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	29,849				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	R7	-	-	
	対策内容					
	・踏切道内誘導表示の設置等(検討中)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	こくぶんじだいいちごう	所在地	東京都国分寺市西恋ヶ窪1丁目24-50		
踏切道名	国分寺第1号	道路名	市道幹7号線	道路管理者名	国分寺市
		鉄道路線名	国分寺線	鉄道事業者名	西武鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点			
		踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)		9.9		左道路	1.0	3.6	1.0	
		横断本数(本)		2		踏切道	0.8	3.8	0.9	
		交差角(度)		65		右道路	1.2	3.8	0.6	
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
			右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
		車両進入防護柵等		設置していない		バリア化	迂回路なし(200m 以内)	-		
		歩車道分離方法		カラー舗装		バリア化 状況	-	DID地区	○	
		踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
			高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
		自動車交通量 (台/日)		6,489		歩行者等交通量 (人/日)		5,403	鉄道交通量 (本/日)	220

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との幅員差(m)	-0.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切付近の車道及び歩道が狭小であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	19,467	AとBの和	35,676		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	16,209				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		検討中	-	-	-	-
		対策内容				
		改良計画書の提出期限：令和11年3月31日				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	くにたちやくしよまえ	所在地	東京都国立市谷保7225地先		
踏切道名	国立市役所前	道路名	市道	道路管理者名	国立市
		鉄道路線名	南武線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点				
 国土地理院電子国土web		踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
		踏切長(m)		10		左道路	1.4	8.0	1.4		
		横断本数(本)		2		踏切道	0.0	8.7	0.0		
		交差角(度)		90		右道路	3.5	14.0	3.0		
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)			
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
		歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
		踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
			高規格保安設備		二段型遮断装置 オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-		
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		6,091		歩行者等交通量 (人/日)		1,541	鉄道交通量 (本/日)		241		

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	-3.5		事故別	件数	死者数		一定程度交通量があり、踏切の除却により交通の円滑化が見込まれるため
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	38,373	AとBの和	48,081	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	9,708				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

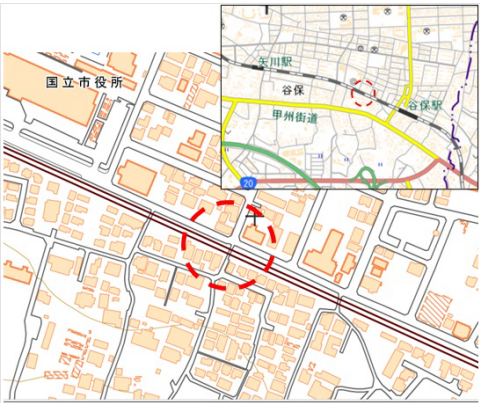
対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
		検討中	○	R8	-	-
		対策内容				
		連続立体交差(H30着工準備) 改良計画提出期限 令和9年3月31日				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	さかしただいいち	所在地	東京都国立市谷保5 7 8 2地先		
踏切道名	坂下第一	道路名	市道	道路管理者名	国立市
		鉄道路線名	南武線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.5		左道路	0.0	3.1	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	2.0	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	4.5	1.5	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		自動車の全面通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		ポール柵を設置している		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		0	歩行者等交通量 (人/日)		650	鉄道交通量 (本/日)	240	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	-1.5		事故別	件数	死者数		踏切が狭隘であるため
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	4,030	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,030				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	R8	-	-	
	対策内容					
	連続立体交差(H30着工準備) 改良計画提出期限 令和9年3月31日					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	さかしただいに	所在地	東京都国立市谷保5785地先		
踏切道名	坂下第二	道路名	市道	道路管理者名	国立市
		鉄道路線名	南武線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点			
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
		踏切長(m)	9.7		左道路	0.0	3.0	0.0		
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.1	0.0		
		交差角(度)	90		右道路	0.0	4.1	1.5		
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
			右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
		交通規制	大型車の通行禁止	歩行者		迂回路なし (200m 以内)	-			
		車両進入防護柵等	設置していない	バリアリ化		迂回路なし (200m 以内)	-			
		歩車道分離方法	なし	バリアリ化 状況		-	DID地区	○		
		踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○			
			高規格保安設備	障害物検知装置(3次元レーザーレー ダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-			
		特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム	-			
			バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)		130		歩行者等交通量 (人/日)		729	鉄道交通量 (本/日)	240		

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	-1.5		事故別	件数	死者数		踏切が狭隘であるため
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	819	AとBの和	5,412	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,593			道路交通事故	-	-			

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真	対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
	検討中	○	R8	-	-
	対策内容				
	連続立体交差（H30着工準備） 改良計画提出期限 令和9年3月31日				
	事業完了年度	対策の効果等			
	-	-			
	除却年度				
	-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	のぼりまつ	所在地	東京都国立市谷保7241地先		
踏切道名	昇松	道路名	市道	道路管理者名	国立市
		鉄道路線名	南武線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点			
 国土地理院電子国土web 	踏切種別		第1種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)		9.5			左道路	0.0	5.0	0.0	
	横断本数(本)		2			踏切道	0.0	1.8	0.0	
	交差角(度)		77			右道路	2.1	8.0	4.0	
	道路 線形	左道路	直線		迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	曲線			自動車	両方共なし	-		
	交通規制		自動車の全面通行禁止			歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
	車両進入防護柵等		ポール柵を設置している			バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
	歩車道分離方法		なし			バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○			
		高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備	-			
	特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-			
バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-					
自動車交通量 (台/日)		0		歩行者等交通量 (人/日)		1,238	鉄道交通量 (本/日)	240		

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との幅員差(m)	-4.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切が狭隘であるため
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	7,676		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	7,676				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	R8	-	-	
	対策内容					
	連続立体交差(H30着工準備) 改良計画提出期限 令和9年3月31日					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	たきのいん	所在地	東京都国立市富士見台2-22地先		
踏切道名	滝の院	道路名	市道	道路管理者名	国立市
		鉄道路線名	南武線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
	踏切長(m)	10		左道路	0.0	2.7	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	2.0	0.0	
	交差角(度)	80		右道路	0.0	4.7	1.3	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
	歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○
	踏切保安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)	○	
		高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザーレーダ式)		高齢者等の事故防止対策設備	-	
	特性	通学路指定状況(学校指定)		-		通学路交通安全プログラム	-	
		バリアフリー法に基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-	
	自動車交通量(台/日)		79	歩行者等交通量(人/日)		879	鉄道交通量(本/日)	240

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との幅員差(m)	-1.3		事故別	件数	死者数		踏切が狭隘であるため
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	466	AとBの和	5,652	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,186				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	検討中	○	R8	-	-	
	対策内容					
	連続立体交差(H30着工準備) 改良計画提出期限 令和9年3月31日					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	まざかだいいち	所在地	東京都羽村市緑ヶ丘5－1地先		
踏切道名	間坂第一	道路名	市道	道路管理者名	羽村市
		鉄道路線名	青梅線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	9.9		左道路	1.1	4.4	2.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	2.0	
		交差角(度)	85		右道路	1.1	4.4	2.0	
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-	
		歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
		踏切保 安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知 装置(手動)		○	
			高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		○	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
		自動車交通量 (台/日)		8,317	歩行者等交通量 (人/日)		1,625	鉄道交通量 (本/日)	237

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	17	前後歩道との幅員差(m)	-1.1		事故別	件数	死者数		踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	29,109	AとBの和	34,797	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,688				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	-	-	-	
	対策内容					
	踏切内誘導表示の設置 改良計画書については提出不要。 R7年度協議・R8年度予算化・R9年度施工実施のため。					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	視覚障害者の方が円滑に歩行可能になる				
	除却年度					
	-					

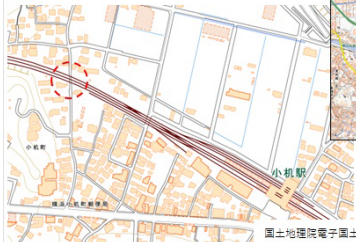
地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しろやま	所在地	神奈川県横浜市港北区小机町１５９５		
踏切道名	城山	道路名	市道川向第２５９号線	道路管理者名	横浜市
		鉄道路線名	横浜線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細



小机駅

小机駅

国土地理院電子国土Web

広域



踏切前



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		16.3		左道路	0.0	2.9	0.0	
横断本数(本)		3		踏切道	0.0	2.9	0.0	
交差角(度)		70		右道路	0.0	2.9	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		非公表		通学路交通安全プロ グラム	非公表		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		508	歩行者等交通量 (人/日)		505	鉄道交通量 (本/日)	325	

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	32	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	3,657	AとBの和	7,293		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,636				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	R5	R6	R6	
	対策内容					
	・構造改良(R7)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	踏切拡幅(歩道設置)を実施することにより、歩車分離の速効対策を実施し、通行の安全性が向上した。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	みょうれんじ6ごう	所在地	神奈川県横浜市神奈川区白幡上町237		
踏切道名	妙蓮寺6号	道路名	市道篠原第341号線	道路管理者名	横浜市
		鉄道路線名	東横線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		7.8		左道路	0.0	5.3	0.0		
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	5.1	0.0		
交差角(度)		90		右道路	0.0	4.2	0.0		
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		
踏切保 安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○			
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	非公表		通学路交通安全プロ グラム		非公表			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		756		歩行者等交通量 (人/日)		3,733	鉄道交通量 (本/日)	604	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	34	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	6,502	AとBの和	38,606		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	32,104				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R4	R4	
	対策内容					
	・障害物検知装置高規格化(光式→3D)(R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R4	踏切道内を線で検知する障害物検知装置を高規格化し、立体的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全を確保した。				
	除却年度					
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ほうりゅうじ	所在地	神奈川県横浜市港北区菊名3-20-348		
踏切道名	法隆寺	道路名	市道北寺尾第484号線	道路管理者名	横浜市
		鉄道路線名	横浜線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

対面観

諸元・構造等

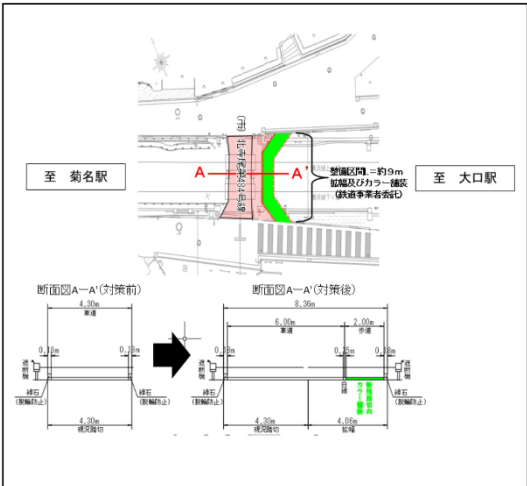
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9		左道路	0.0	4.0	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	4.8	0.0	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘｱﾘ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線		ﾊﾞﾘｱﾘ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		非公表		通学路交通安全ﾌﾟﾛ ｸﾞﾗﾑ	非公表		
	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		556		歩行者等交通量 (人/日)	2,304		鉄道交通量 (本/日)	321

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	33	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	3,614	AとBの和	18,590		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	14,976				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R5	R6	R6	
	対策内容					
	・既設踏切道(車道)を拡幅し、歩道設置及びカラー舗装を実施(R8(予定))					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	うみお（りよかく）	所在地	神奈川県横浜市鶴見区生麦3-1		
踏切道名	生見尾（旅）	道路名	市道生麦第108号線	道路管理者名	横浜市
		鉄道路線名	東海道線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細図

広域図

現況

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		10.5		左道路	0.7	4.6	0.7		
横断本数(本)		2		踏切道	0.8	4.1	1.0		
交差角(度)		85		右道路	1.0	3.7	1.1		
道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	直線		自動車	-	-			
交通規制		車両高さ規制、車両通行禁止(時間指定、軽車両除く)			歩行者	跨線橋	30		
車両進入防護柵等		-			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線			バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		#N/A		
	高規格保安設備		大型遮断装置 支障報知装置(降検)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		224		歩行者等交通量 (人/日)		5,258	鉄道交通量 (本/日)	293	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	25	前後歩道との幅員差(m)	0.3		事故別	件数	死者数		鉄道や幹線道路による地域間の分断
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	1,120	AとBの和	27,410	踏切内の事故発生状況	踏切事故	1	1	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	26,290			道路交通事故	-	-			

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.12.23（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		検討中	○	R7	-	-
		対策内容				
		・跨線人道橋設置(R8～) ・既設跨線人道橋にエレベーターの設置(R3)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		-	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	きくな2ごう	所在地	神奈川県横浜市港北区菊名3-14		
踏切道名	菊名2号	道路名	市道菊名第322号線	道路管理者名	横浜市
		鉄道路線名	東横線	鉄道事業者名	東急電鉄

位置図・現況写真

詳細

広域

国土地理院電子国土Web

町田駅

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.2		左道路	0.0	3.3	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	3.5	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	4.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	架道橋(と交差する道路)	147		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		非公表		通学路交通安全プロ グラム	非公表		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		236		歩行者等交通量 (人/日)		527	鉄道交通量 (本/日)	696

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	34	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	付近に老人福祉施設等があり、高齢者等の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	1,935	AとBの和	6,256		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,321				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第10号(高齢者等対策踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R4	R4	
	対策内容					
	・障害物検知装置高規格化(光式→3D)(R4)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R4	踏切道内を線で検知する障害物検知装置を高規格化し、立体的な検知を可能とすることで、踏切道に取り残された高齢者・障害者等の検知率を高め、通行の安全を確保した。				
	除却年度					
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かなざわはっけい（ず）だいふみきりどう	所在地	神奈川県横浜市金沢区六浦5-15		
踏切道名	金沢八景（逗）第2踏切道	道路名	市道朝比奈第534号線	道路管理者名	横浜市
		鉄道路線名	逗子線	鉄道事業者名	京浜急行電鉄

位置図・現況写真

詳細

六浦駅

六浦五丁目

六浦三丁目

六浦二丁目

六浦一丁目

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

六浦

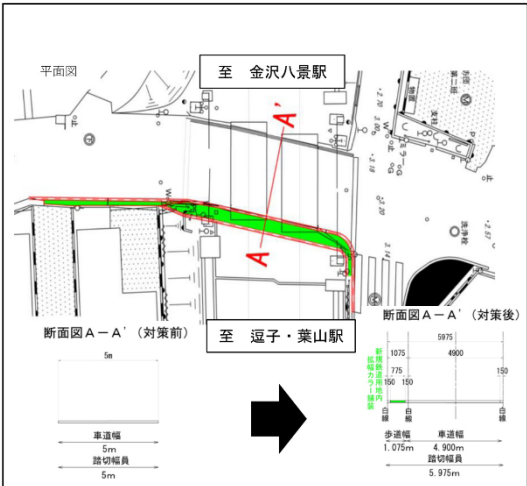
六浦

六

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数	地域課題 歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	2,687	AとBの和	15,249	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,562				道路交通事故	1	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R4	R5	R5	
	対策内容					
	・既設踏切道(車道)を拡幅し、歩道設置及びカラー舗装を実施(R8(予定))					
	事業完了年度	対策の効果等				
-	-					
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	くぼさわだいいち	所在地	神奈川県相模原市緑区橋本8-1		
踏切道名	久保沢第一	道路名	国道16号	道路管理者名	国土交通省
		鉄道路線名	横浜線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		12.3		左道路	1.8	6.7	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	1.8	6.7	0.0	
交差角(度)		70		右道路	1.8	6.7	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		上記以外の交通規制(一方通行、車輪による通行禁止等)		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		5,592		歩行者等交通量 (人/日)		4,801	鉄道交通量 (本/日)	330

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	18	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	凹凸のある誘導表示等が設置されておらず、視覚障害者の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	20,690	AとBの和	38,454		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	17,764				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	—	—	R4	R5	
	対策内容					
	視覚障害者用誘導表示シート設置 (R5. 6)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R6	視覚に障害がある方が、踏切内の存在と認識し安全に通行できるようになった。				
除却年度						
—						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	くぼさわだいに	所在地	神奈川県相模原市緑区橋本 8 - 1		
踏切道名	久保沢第二	道路名	国道 1 6 号	道路管理者名	国土交通省
		鉄道路線名	横浜線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		12.2		左道路	0.0	6.5	2.0		
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.5	2.0		
交差角(度)		70		右道路	0.0	6.5	2.0		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		上記以外の交通規制(一方通行、車輪による通行禁止等)		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-			
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		4,313		歩行者等交通量 (人/日)		1,610	鉄道交通量 (本/日)	330	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	18	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	凹凸のある誘導表示等が設置されておらず、視覚障害者の通行の安全を確保する必要がある
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	15,958	AとBの和	21,915		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,957				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R4. 12. 16 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	-	R4	R5	
	対策内容					
	視覚障害者用誘導表示シート設置 (R5. 8)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R6	視覚に障害がある方が、踏切内の存在と認識し安全に通行できるようになった。				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

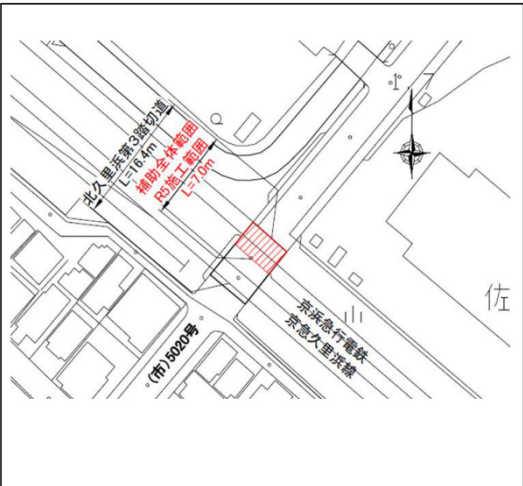
よみがな	きたくりはまだい3ふみきりどう	所在地	神奈川県横須賀市舟倉2-700		
踏切道名	北久里浜第3踏切道	道路名	市道5020号	道路管理者名	横須賀市
		鉄道路線名	久里浜線	鉄道事業者名	京浜急行電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
詳細 広域  国土地理院電子国土web (現況) 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	16.4		左道路	1.7	7.2	2.5	
		横断本数(本)	3		踏切道	1.9	6.0	1.9	
		交差角(度)	90		右道路	1.9	7.0	2.1	
		道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	地下道	155	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○	
高規格保安設備			オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(3次元レーザレ ーダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)		11,035		歩行者等交通量 (人/日)		1,228	鉄道交通量 (本/日)	372	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との幅員差(m)	-0.6		事故別	件数	死者数		踏切道の短縮を行ったことによる効果について、京浜急行と検証予定
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	48,554	AとBの和	53,957	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,403				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

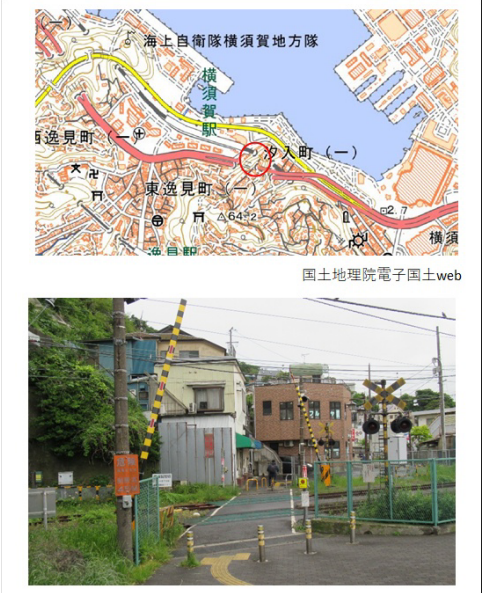
法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.12.16(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	—	R4	R5	R5	
	対策内容					
	踏切長の短縮					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	検証中				
	除却年度					
—						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	よこすか	所在地	神奈川県横須賀市東逸見町 1-1-1		
踏切道名	横須賀	道路名	県道25号(横須賀停車場)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	横須賀線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10		左道路	0.0	3.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	3.0	0.0	0.0	
	交差角(度)	62	迂回路	右道路	0.0	1.6	0.0	
	道路線形	左道路	直線	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	曲線	自動車	両方共なし	-		
	交通規制	自動車の全面通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	ポール柵を設置している		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知装置(手動)	○	
		高規格保安設備		大型遮断装置 障害物検知装置		高齢者等の事故防止対策設備	-	
	特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プログラム	-	
		バリアフリー法に基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
	自動車交通量 (台/日)	0		歩行者等交通量 (人/日)	2,947	鉄道交通量 (本/日)	150	

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	16	前後歩道との幅員差(m)	3.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	10,904		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	10,904				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車・トルネック踏切	歩行者・トルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	-	R6	R6	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(R6～R7.3) 令和7年3月までに対策が完了したため、改良計画書は提出不要(改良計画書提出期限R8.3.31)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R6	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	なごえ	所在地	神奈川県鎌倉市材木座2-4-6		
踏切道名	名越	道路名	県道311号(鎌倉葉山)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	横須賀線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真



「国土地理院電子国土web」



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		14.1		左道路	1.9	7.0	2.0	
横断本数(本)		2		踏切道	2.0	7.0	2.0	
交差角(度)		48		右道路	2.0	7.0	2.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		7,976	歩行者等交通量 (人/日)		1,236	鉄道交通量 (本/日)	253	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	0.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	34,296	AとBの和	39,611		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,315				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
		-	R6	R7	R7		
	対策内容						
	踏切道内誘導表示の設置等(R8.3)						
	事業完了年度	対策の効果等					
	R7	-					
	除却年度						
	-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	わだづか4ごうふみきりどう	所在地	神奈川県鎌倉市由比が浜2-2-33先		
踏切道名	和田塚4号踏切道	道路名	県道311号(鎌倉葉山)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	江ノ島電鉄線	鉄道事業者名	江ノ島電鉄

位置図・現況写真

「国土地理院電子国土web」

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)	4.7		左道路	1.7	7.5	1.5	
横断本数(本)	1		踏切道	3.2	7.6	3.2	
交差角(度)	43		右道路	1.7	7.6	1.7	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-	
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○
踏切保 安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		4,531	歩行者等交通量 (人/日)		3,499	鉄道交通量 (本/日)	174

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との幅員差(m)	1.7	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	17,671	AとBの和	31,317		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	13,646				道路交通事故	1	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真	対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
	対策完了	－	R6	R7	R7
	対策内容				
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）				
	事業完了年度	対策の効果等			
	R7	－			
	除却年度				
	－				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ごくらくじ4ごうふみきりどう	所在地	神奈川県鎌倉市長谷2-18-15先		
踏切道名	極楽寺4号踏切道	道路名	県道32号(藤沢鎌倉)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	江ノ島電鉄線	鉄道事業者名	江ノ島電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
		踏切長(m)	6.4		左道路	1.5	6.9	1.5
		横断本数(本)	2		踏切道	1.5	6.9	1.5
		交差角(度)	83		右道路	1.5	6.9	1.5
		道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区
		踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)		○	
			高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止対策設備		-	
		特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム		-	
			バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上		-	
		自動車交通量(台/日)	6,999	歩行者等交通量(人/日)	3,788	鉄道交通量(本/日)	174	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	10	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	20,997	AとBの和	32,361		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	11,364				道路交通事故	1	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(R8.1)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	だいに かまくら みち	所在地	神奈川県鎌倉市 1 9 5 9		
踏切道名	第二鎌倉道	道路名	県道21号(横浜鎌倉)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	横須賀線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
詳細  「国土地理院電子国土web」 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	12.2		左道路	0.0	7.1	1.3	
		横断本数(本)	2		踏切道	1.0	7.5	1.0	
		交差角(度)	80		右道路	0.0	6.8	1.1	
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
		踏切保 安設備	賢い踏切		○	踏切支障報知 装置(手動)		○	
			高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(3次元レーザーレ ーダ式)	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		○	通学路交通安全プロ グラム		-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
		自動車交通量 (台/日)		7,844	歩行者等交通量 (人/日)		1,196	鉄道交通量 (本/日)	253

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との幅員差(m)	-0.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	43,142	AとBの和	49,720		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,578				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車・トルネッ踏切	歩行者・トルネッ踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	-	R6	R7	R7
		対策内容				
		踏切道内誘導表示の設置等 (R8.3)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R7	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かまくら（でんしゃく）	所在地	神奈川県鎌倉市台1-5-23		
踏切道名	鎌倉（電車区）	道路名	県道302号(小袋谷藤沢)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	東海道線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細



「国土地理院電子国土web」

広域



諸元・構造等

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		14.8		左道路	0.0	6.6	0.0		
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	8.7	0.0		
交差角(度)		90		右道路	0.0	6.5	0.0		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-			
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		
踏切保 安設備	賢い踏切	-			踏切支障報知 装置(手動)	○			
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)			高齢者等の事故防止 対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-			通学路交通安全プロ グラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-			緊急輸送道路上 重要物流送道路上	-			
自動車交通量 (台/日)		3,170	歩行者等交通量 (人/日)		1,876	鉄道交通量 (本/日)		43	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	21	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,193	AとBの和	14,633		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,440				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）						
R7.1.15（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	－	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	－				
	除却年度					
	－					

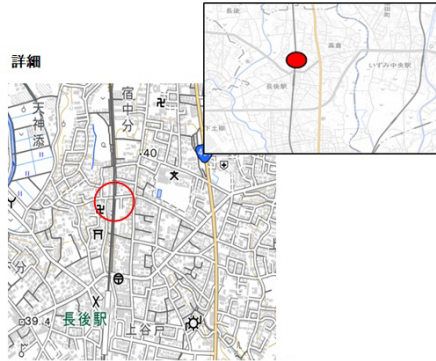
地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	こうざしぶや13ごう	所在地	神奈川県藤沢市長後794先		
踏切道名	高座渋谷13号	道路名	市道長後268号	道路管理者名	藤沢市
		鉄道路線名	江ノ島線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

詳細



国土地理院電子国土web

現況



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.3		左道路	0.0	5.0	1.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.3	0.0	
交差角(度)		81		右道路	0.0	4.8	1.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(3Dレザレゲ式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		2,847		歩行者等交通量 (人/日)		940	鉄道交通量 (本/日)	378

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	-1.0		事故別	件数	死者数		渋滞を避けて抜け道として利用する通過交通が多く、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	19,075	AとBの和	25,373	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,298				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R5	R5	-	
	対策内容					
	・踏切道密接関連道路の改良					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
除却年度						
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ごひゃくらかん	所在地	神奈川県小田原市多古字妙泉寺前3 2 3-2		
踏切道名	五百羅漢	道路名	県道74号（小田原山北）	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	大雄山線	鉄道事業者名	伊豆箱根鉄道

位置図・現況写真

広域

穴師

坂下

多古

五百羅漢駅

玉宝寺

扇町(五)

「国土地理院電子国土web」

詳細



「国土地理院電子国土web」



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		5.6		左道路	0.0	5.2	2.0		
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	9.2	1.8		
交差角(度)		61		右道路	0.0	6.9	0.0		
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		
踏切保 安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○			
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		8,744		歩行者等交通量 (人/日)		829	鉄道交通量 (本/日)	168	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	-0.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	18,362	AとBの和	20,103		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,741				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.2）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	あなべ	所在地	神奈川県小田原市穴部字下河原 1 1 - 2		
踏切道名	穴部	道路名	県道74号（小田原山北）	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	大雄山線	鉄道事業者名	伊豆箱根鉄道

位置図・現況写真

広域

詳細

「国土地理院電子国土web」

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		6.9		左道路	1.7	8.6	0.0	
横断本数(本)		1		踏切道	1.4	8.0	0.0	
交差角(度)		57		右道路	1.1	6.7	0.0	
道路 線形	左道路	曲線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし（200m 以内）	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし（200m 以内）	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切	○	踏切支障報知 装置(手動)		-			
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全プロ グラム		-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		15,722	歩行者等交通量 (人/日)		470	鉄道交通量 (本/日)		168

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	-0.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	33,016	AとBの和	34,003		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	987				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真	対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
	対策完了	－	R6	R7	R7
	対策内容				
	踏切道内誘導表示の設置等（R8. 2）				
	事業完了年度	対策の効果等			
	R7	－			
	除却年度				
	－				

地域課題踏切カルテ

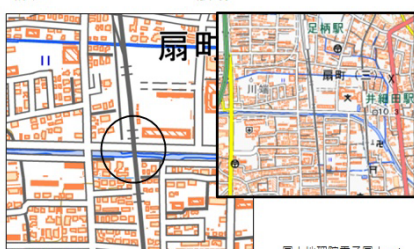
更新日：令和8年3月末

よみがな	あしがら2ごう	所在地	神奈川県小田原市扇町3-23-1先		
踏切道名	足柄2号	道路名	市道0031	道路管理者名	小田原市
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

詳細

広域



国土地理院電子国土web

(現況)



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		9.7		左道路	1.2	5.5	0.0		
横断本数(本)		2		踏切道	1.2	7.1	0.0		
交差角(度)		80		右道路	1.2	5.8	0.0		
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
踏切保 安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○			
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プロ グラム		○			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量 (台/日)		6,577		歩行者等交通量 (人/日)		1,732	鉄道交通量 (本/日)	432	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	21	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 ・歩行空間の幅員が狭く、歩行者の相互通行が困難であり、児童の通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	34,858	AとBの和	44,038		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	9,180				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
対策平面図						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	じんむじだい3ふみきりどう	所在地	神奈川県逗子市逗子2-7-3		
踏切道名	神武寺第3踏切道	道路名	県道24号(横須賀逗子)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	逗子線	鉄道事業者名	京浜急行電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点				
 「国土地理院電子国土web」		踏切種別		第1種		幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
		踏切長(m)		9.3			左道路	1.4	7.0	1.6		
		横断本数(本)		2			踏切道	1.1	6.9	1.1		
		交差角(度)		69			右道路	1.6	7.0	1.3		
		道路 線形	左道路	直線		迂 回 路	種類	有無等	距離(m)			
			右道路	直線			自動車	両方共なし	-			
		交通規制		交通規制なし			歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-			
		車両進入防護柵等		設置していない			バリア化	迂回路なし(200m 以内)	-			
		歩車道分離方法		カラー舗装			バリア化 状況	-	DID地区		○	
		踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○			
高規格保安設備			障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-					
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		-					
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-					
自動車交通量 (台/日)		4,723		歩行者等交通量 (人/日)		8,249		鉄道交通量 (本/日)		239		

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との幅員差(m)	-0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	13,697	AとBの和	37,619		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	23,922				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車*トルネッ踏切	歩行者*トルネッ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	－	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	－				
	除却年度					
	－					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	じんむじだい4ふみきりどう	所在地	神奈川県逗子市逗子5-1-6		
踏切道名	神武寺第4踏切道	道路名	市道逗子33号	道路管理者名	逗子市
		鉄道路線名	逗子線	鉄道事業者名	京浜急行電鉄

位置図・現況写真

詳細

広域



国土地理院電子国土WEB



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		5.4		左道路	1.8	7.0	0.7	
横断本数(本)		1		踏切道	2.6	8.1	1.1	
交差角(度)		90		右道路	1.7	7.8	1.4	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保安設備	賢い踏切	○			踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)			高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○			通学路交通安全プロ グラム	○		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○			緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		4,326	歩行者等交通量 (人/日)		5,464	鉄道交通量 (本/日)	239	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との幅員差(m)	-0.3		事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている(令和7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	18,602	AとBの和	42,097	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	23,495				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	○

法指定の状況					R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
広域  広域 詳細  詳細 対策前  対策前 対策後  対策後	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	対策完了	○	-	-	-	R7	
	対策内容						
	踏切道内誘導表示の設置						
	事業完了年度	対策の効果等					
	R7	直線的な通行の確保 危険箇所への誤進入防止					
除却年度							
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	いせはら15ごう	所在地	神奈川県秦野市鶴巻北4-1-30先		
踏切道名	伊勢原15号	道路名	県道612号(上粕屋南金目)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

詳細



「国土地理院電子国土web」



広域



諸元・構造等

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		12.5		左道路	0.0	7.0	3.0	
横断本数(本)		2		踏切道	3.8	16.2	3.8	
交差角(度)		50		右道路	3.0	7.0	3.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		大型遮断装置 オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流送路上	-		
自動車交通量 (台/日)		6,893		歩行者等交通量 (人/日)		3,346	鉄道交通量 (本/日)	324

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	24	前後歩道との幅員差(m)	3.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	39,979	AとBの和	59,386		踏切事故	1	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	19,407				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	-	R6	R7	R7
		対策内容				
		踏切道内誘導表示の設置等(R8.3)				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R7	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	はたの4ごう	所在地	神奈川県秦野市上今川町1-4先		
踏切道名	秦野4号	道路名	市道71号線	道路管理者名	秦野市
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等							R3年9月末時点
詳細  広域  国土地理院電子国土web (現況) 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	12.5		左道路	1.0	6.0	0.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.7	6.8	0.7	
		交差角(度)	70		右道路	0.0	6.5	0.0	
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切		○	踏切支障報知 装置(手動)		○	
			高規格保安設備		障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		○	通学路交通安全プロ グラム		○	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
		自動車交通量 (台/日)		4,795	歩行者等交通量 (人/日)		502	鉄道交通量 (本/日)	308

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	17	前後歩道との幅員差(m)	-0.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	・現道は歩道がなく、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている。・現在、接続道は歩道整備中で、踏切内の歩道が未整備となっている。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	19,180	AとBの和	21,188		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,008				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	-	-	-	
	対策内容					
	踏切道におけるバリアフリー対策(検討中) 踏切内の歩道新設、歩車道分離 改良計画書提出予定月 令和9年3月					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	はたの１５ごう	所在地	神奈川県秦野市曲松2-1-40先		
踏切道名	秦野15号	道路名	県道708号（秦野大井）	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

広域

詳細



「国土地理院電子国土web」



諸元・構造等

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)	9.9		左道路	0.0	6.0	2.2	
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	8.5	2.5	
交差角(度)	77		右道路	0.0	5.5	2.2	
道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	140	
車両進入防護柵等		設置していない		バリア化	駅構内自由通路	140	
歩車道分離方法		カラー舗装		バリア化 状況	両側にエレベーター等	DID地区	○
踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○		
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-		
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-		
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-		
自動車交通量(台/日)		4,995	歩行者等交通量(人/日)		1,348	鉄道交通量(本/日)	308

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	21	前後歩道との幅員差(m)	0.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	22,478	AとBの和	28,544		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,066				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ちゅうおうりんかん2ごう	所在地	神奈川県大和市中央林間1-1-26先		
踏切道名	中央林間2号	道路名	中央林間2号踏切道	道路管理者名	大和市
		鉄道路線名	江ノ島線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		9.8		左道路	1.4	5.8	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	1.3	7.3	0.0	
交差角(度)		86		右道路	1.6	4.7	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		1,769		歩行者等交通量 (人/日)		2,748	鉄道交通量 (本/日)	386

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	28	前後歩道との幅員差(m)	-0.3		事故別	件数	死者数	地域課題 踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	12,737	AとBの和	32,523	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	19,786				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	○	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	視覚障がい者の安全な通行を確保できた。 今年度評価書策定予定のため、評価後記入				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	やまと1ごう	所在地	神奈川県大和市大和南2-14-18先		
踏切道名	大和1号	道路名	県道40号(横浜厚木)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	江ノ島線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真



位置図・現況写真

位置図: 中央(七)の交差点付近の地図。赤い円で踏切の位置が示されています。周辺の道路は黄色で、歩道は緑で、車道は灰色で示されています。地図には「柳橋」「大塚」「大塚戸」などの地名が記載されています。

現況写真: 踏切の両側の写真。左側の写真は踏切の横断面を示し、右側の写真は踏切の縦断面を示しています。

諸元・構造等

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)		8.8		左道路	1.1	7.4	1.0
横断本数(本)		2		踏切道	1.0	8.0	1.0
交差角(度)		85		右道路	1.5	7.4	2.0
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○
踏切保 安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流送路上	-		
自動車交通量 (台/日)		7,891	歩行者等交通量 (人/日)		641	鉄道交通量 (本/日)	378

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	25	前後歩道との幅員差(m)	-1.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	48,135	AとBの和	52,045		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	3,910				道路交通事故	1	1		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	－	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	－				
	除却年度					
	－					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かしわだい1ごう	所在地	神奈川県海老名市国分字大松原3258-2		
踏切道名	かしわ台1号	道路名	県道407号(杉久保座間)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	相模鉄道

位置図・現況写真

詳細

相模国分尼

国分南

国分南(二)

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

踏切種別

第1種

幅員(m)

位置

歩道部
(起点寄)

車道

歩道部
(終点寄)

踏切長(m)

9

左道路

0.0

7.7

0.0

横断本数(本)

2

踏切道

0.0

7.7

0.0

交差角(度)

90

右道路

0.0

7.0

0.0

道路線形

左道路

直線

迂回路

種類

有無等

距離(m)

右道路

直線

自動車

両方共なし

-

交通規制

交通規制なし

歩行者

迂回路なし(200m以内)

-

車両進入防護柵等

設置していない

バリアリ化

迂回路なし(200m以内)

-

歩車道分離方法

カラー舗装

バリアリ化状況

-

DID地区

○

踏切保安設備

賢い踏切

○

踏切支障報知装置(手動)

○

高規格保安設備

障害物検知装置(光式)

高齢者等の事故防止対策設備

-

特性

通学路指定状況(学校指定)

-

通学路交通安全プログラム

-

バリアフリー法に基づく特定道路上

-

緊急輸送道路上重要物流道路上

-

自動車交通量(台/日)

10,521

歩行者等交通量(人/日)

2,845

鉄道交通量(本/日)

348

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	19	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	42,084	AとBの和	53,464		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	11,380				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R4.12.16(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	R4	R5	R5	
	対策内容					
	歩道設置(R5～) ・踏切道内誘導表示の設置等(R8.2)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	えびな、さがみこくぶ4ごう	所在地	神奈川県海老名市河原口923		
踏切道名	海老名、相模国分4号	道路名	県道40号(横浜厚木)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	相模線、厚木線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道、相模鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 「国土地理院電子国土web」 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	40		左道路	3.4	7.4	4.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	2.3	7.5	2.5	
		交差角(度)	30		右道路	2.1	7.4	2.3	
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
		踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○	
			高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(3次元レーザーレー ダ式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
		自動車交通量 (台/日)		9,188		歩行者等交通量 (人/日)		2,800	鉄道交通量 (本/日)

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との幅員差(m)	-1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	26,645	AとBの和	34,765		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	8,120				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
		-	R6	R7	R7		
	対策内容						
	踏切道内誘導表示の設置等(R8.3)						
	事業完了年度	対策の効果等					
	R7	-					
	除却年度						
	-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	さがみおつか3ごう	所在地	神奈川県海老名市東柏ヶ谷3丁目1378-4		
踏切道名	相模大塚3号	道路名	市道5号線	道路管理者名	海老名市
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	相模鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	8.6		左道路	0.0	7.0	0.0	
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	7.0	0.0	
		交差角(度)	90	迂回路	右道路	0.0	6.8	0.0	
		道路線形	左道路		曲線	種類	有無等	距離(m)	
			右道路		直線	自動車	両方共なし	-	
		交通規制			交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)		-
		歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化状況	-	DID地区	○
		踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)		○	
高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(20式)		高齢者等の事故防止対策設備		全方位警報機の設置・警報機を低い位置に増設				
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム		-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-			
自動車交通量(台/日)		5,089		歩行者等交通量(人/日)		2,846	鉄道交通量(本/日)	472	

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	22	前後歩道との幅員差(m)	0.0		事故別	件数	死者数	地域課題 踏切が信号交差点と近接しているため、信号待ちの停車車両が踏切内に取り残される恐れがある。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	21,883	AとBの和	34,121	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,238				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	対策完了	○	-	R5	R6		
	対策内容						
	障害物検知装置の高機能化(2次元レーザーレーダー式) (R6予定)						
	事業完了年度	対策の効果等					
	R6	車等が踏切道内に取り残された際に、高機能化した障害物検知装置により平面的な検知が可能となり、踏切道内に取り残された車等の検知性能が向上し、踏切道内通行の安全性が向上した。					
除却年度							
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	さがみの2ごう	所在地	神奈川県座間市栗原字東原5-3		
踏切道名	さがみ野2号	道路名	県道42号(藤沢座間厚木)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	本線	鉄道事業者名	相模鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		12		左道路	2.5	5.9	2.5		
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	11.8	0.0		
交差角(度)		45		右道路	2.0	6.8	3.4		
道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等		距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし		-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	跨線橋		180		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)		-		
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○		
踏切保安 設備	賢い踏切			○		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備			オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)			-		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上			-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		9,742		歩行者等交通量 (人/日)		1,230	鉄道交通量 (本/日)		360

基準算定データ								R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	22	前後歩道との幅員差(m)	-3.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	38,968	AとBの和	43,888		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,920				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	－	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.2）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	－				
	除却年度					
	－					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ざま1ごう	所在地	神奈川県座間市入谷5-1679-1先		
踏切道名	座間1号	道路名	市道1号線	道路管理者名	座間市
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 凡例 ：特定道路 国土地理院電子国土web  現況 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	11		左道路	0.5	6.3	0.5	
		横断本数(本)	2		踏切道	1.2	7.7	0.9	
		交差角(度)	79		右道路	0.5	6.5	0.5	
		道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	100	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	駅構内自由通路	100	
		歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	両側にエレベータ等	DID地区	○
		踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○	
			高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
自動車交通量 (台/日)		5,016		歩行者等交通量 (人/日)		2,310	鉄道交通量 (本/日)	600	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	30	前後歩道との幅員差(m)	0.7	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている (R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	37,620	AとBの和	54,945		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	17,325				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	-	-	-	
	対策内容					
	改良計画書提出期限 提出不要 (令和6年1月18日地域課題に指定。3年未満での改良予定のため提出不要。令和8年度実施予定) 踏切道内誘導表示の設置等(令和8年度実施予定)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	そうぶだいまえ 3 ごとう	所在地	神奈川県座間市緑ヶ丘6-27-2先		
踏切道名	相武台前3号	道路名	市道17号線	道路管理者名	座間市
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

凡例

：特定道

緑ヶ丘（六）

本育館

緑

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		15.7		左道路	3.0	6.0	3.0		
横断本数(本)		2		踏切道	3.0	7.0	3.0		
交差角(度)		62		右道路	3.0	6.0	3.0		
道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ 化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		コンクリートブロック		バリアリ 化 状況	-	DID地区	○		
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備		障害物検知装置 (光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		○		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		6,680		歩行者等交通量 (人/日)		2,818	鉄道交通量 (本/日)		600

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	30	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている（R7年1月末時点）
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	46,092	AとBの和	65,536		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	19,444				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18 (現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	-	-	-	
	対策内容					
	改良計画書提出期限 提出不要 (令和6年1月18日地域課題に指定。3年未満での改良予定のため提出不要。令和8年度実施予定) 踏切道内誘導表示の設置等 (令和8年度実施予定)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

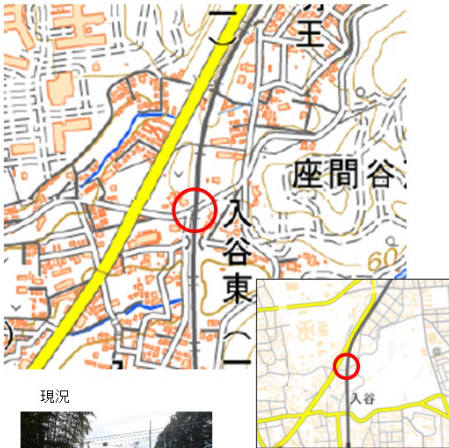
地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	そうぶだいまえ4ごう	所在地	神奈川県座間市入谷3-3392先		
踏切道名	相武台前4号	道路名	市道4号線	道路管理者名	座間市
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web



現況



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		12.5		左道路	0.5	4.7	0.5	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.6	0.0	
交差角(度)		60		右道路	0.5	5.3	0.5	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	架道橋(と交差する道路)	50		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		5,210		歩行者等交通量 (人/日)		105	鉄道交通量 (本/日)	600

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	31	前後歩道との幅員差(m)	-0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当該市道は、歩道が未設置で、車道幅員が狭小のため歩行者の安全な通行が確保されていない。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	38,554	AとBの和	39,331		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	777				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		○	R5	R5	-	
	対策内容					
	・アンダーパス ・踏切除却					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	そうぶだいまえ6ごう	所在地	神奈川県座間市入谷3-2851-1先		
踏切道名	相武台前6号	道路名	県道42号(藤沢座間厚木)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真



諸元・構造等

		諸元・構造等				R3年9月末時点		
踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.6		左道路	0.0	8.0	1.5	
横断本数(本)		2		踏切道	1.8	10.0	1.8	
交差角(度)		88		右道路	1.5	7.0	1.5	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		6,748		歩行者等交通量 (人/日)		625	鉄道交通量 (本/日)	600

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	29	前後歩道との幅員差(m)	1.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	47,236	AとBの和	51,611		踏切事故	-	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,375				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(R8.3)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	おかもと	所在地	神奈川県南足柄市塚原字平和1664-1		
踏切道名	岡本	道路名	県道715号（栢山停車場塚原）	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	大雄山線	鉄道事業者名	伊豆箱根鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点			
詳細 広域		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
		踏切長(m)	5.2		左道路	2.2	7.6	2.2		
		横断本数(本)	1		踏切道	2.2	11.9	2.2		
		交差角(度)	78		右道路	2.2	7.6	2.2		
		道路 線形	左道路	直線	迂 回 路	種類	有無等	距離(m)		
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
		歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
		踏切保 安設備	賢い踏切			○		踏切支障報知 装置(手動)	○	
高規格保安設備			障害物検知装置(光式)			高齢者等の事故防止 対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○			通学路交通安全プロ グラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-			緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)		10,305		歩行者等交通量 (人/日)		1,411	鉄道交通量 (本/日)	168		

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	20,610	AとBの和	23,432		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,822				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
		対策完了	-	R6	R7	R7
		対策内容				
		踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）				
		事業完了年度	対策の効果等			
		R7	-			
		除却年度				
		-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ぬまただいに	所在地	神奈川県南足柄市北窪字川窪500-5		
踏切道名	沼田第2	道路名	県道717号（沼田国府津）	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	大雄山線	鉄道事業者名	伊豆箱根鉄道

位置図・現況写真

広域

詳細

「国土地理院電子国土web」

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)
踏切長(m)	5.6		左道路	1.8	7.0	1.8
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	11.0	0.0
交差角(度)	73		右道路	1.8	7.0	1.8
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-
交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし(200m以内)	-
車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-
歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○
踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)	○	
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-	
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-	
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流送道路上	-	
自動車交通量(台/日)	9,203		歩行者等交通量(人/日)	699	鉄道交通量(本/日)	168

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	-1.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	19,326	AとBの和	20,794		踏切事故	1	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,468				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）					
R7.1.15（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R8.3）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ようだ	所在地	神奈川県寒川町岡田3-1		
踏切道名	用田	道路名	県道45号(丸子中山茅ヶ崎)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	相模線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真

広域



詳細



「国土地理院電子国土web」





諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		14.9		左道路	1.7	6.8	2.3	
横断本数(本)		3		踏切道	2.8	7.0	2.6	
交差角(度)		70		右道路	2.5	7.0	2.5	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		10,858		歩行者等交通量 (人/日)		3,140	鉄道交通量 (本/日)	130

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との幅員差(m)	1.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	39,088	AとBの和	50,392		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	11,304				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(R8.3)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	しぶさわ12ごう	所在地	神奈川県松田町神山239先		
踏切道名	渋沢12号	道路名	県道72号(松田国府津)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	小田原線	鉄道事業者名	小田急電鉄

位置図・現況写真

「国土地理院電子国土web」

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		10.7		左道路	2.5	7.0	2.5	
横断本数(本)		2		踏切道	2.3	11.0	2.3	
交差角(度)		65		右道路	2.5	7.0	2.5	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-		
歩車道分離方法		カラー舗装		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○	
	高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備		-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
自動車交通量 (台/日)		8,435		歩行者等交通量 (人/日)		346	鉄道交通量 (本/日)	308

基準算定データ								R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	14	前後歩道との幅員差(m)	-0.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	27,836	AとBの和	28,978		踏切事故	1	-	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,142				道路交通事故	-	-	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	対策完了	－	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等（R7. 12）					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	－				
	除却年度					
	－					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ごうら	所在地	神奈川県箱根町強羅1300-329		
踏切道名	強羅	道路名	県道723号(関本小涌谷)	道路管理者名	神奈川県
		鉄道路線名	鉄道線	鉄道事業者名	箱根登山鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点
		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
		踏切長(m)	7.5		左道路	1.5	5.5	0.0
		横断本数(本)	2		踏切道	0.0	8.0	0.0
		交差角(度)	90		右道路	1.5	5.5	0.0
		道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
			右道路	直線		自動車	両方共なし	-
		交通規制		交通規制なし		歩行者	地下道	130
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-
		歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化状況	-	DID地区
		踏切保安設備	賢い踏切	○		踏切支障報知装置(手動)		○
			高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止対策設備		-
		特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム		-
			バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-
		自動車交通量(台/日)		2,446	歩行者等交通量(人/日)		2,080	鉄道交通量(本/日)
								120

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	12	前後歩道との幅員差(m)	-1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切道の手前に点字ブロックが設置されているが、踏切道内の誘導表示が未設置であり、視覚障害者の安全な通行に支障。(R7年1月末時点)	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	5,870	AとBの和	10,862		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	4,992				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R7.1.15(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		-	R6	R7	R7	
	対策内容					
	踏切道内誘導表示の設置等(R7.12)					
	事業完了年度	対策の効果等				
	R7	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	かのう	所在地	長野県上田市大字大屋字遠河原		
踏切道名	和	道路名	一般県道大屋停車場田沢線	道路管理者名	長野県
		鉄道路線名	しなの鉄道線	鉄道事業者名	しなの鉄道

位置図・現況写真



国土地理院 地理院地図(電子国土Web)



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)		13.9		左道路	0.0	5.4	0.0	
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	5.5	0.0	
交差角(度)		90		右道路	0.0	6.1	0.0	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-		
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-	
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
	高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止 対策設備	-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		-		通学路交通安全プロ グラム	-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		
自動車交通量 (台/日)		3,125	歩行者等交通量 (人/日)		411	鉄道交通量 (本/日)	77	

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 踏切の幅員が狭く車同士のすれ違いが困難な上に、踏切内の歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしていることに加え、接続部がクランク形状となっており、視距が確保できず、スムーズな車の走行を妨げている。	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	5,625	AとBの和	6,365		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	740				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況			R8年3月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度
	事業中	○	R7	R6	-
	対策内容				
	踏切拡幅、歩道設置、踏切道内誘導表示設置				
	事業完了年度	対策の効果等			
	-	-			
	除却年度				
	-				

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	ほんまち	所在地	長野県飯田市桜町4377		
踏切道名	本町	道路名	市道飯田1号線	道路管理者名	飯田市
		鉄道路線名	飯田線	鉄道事業者名	東海旅客鉄道

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

(終点側) (起点側)

現踏切幅→6.0m

諸元・構造等				R3年9月末時点			
踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
踏切長(m)	6		左道路	1.0	6.0	1.0	
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	5.6	0.0	
交差角(度)	81		右道路	0.0	6.0	0.0	
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○
踏切保 安設備	賢い踏切		-		踏切支障報知 装置(手動)	○	
	高規格保安設備		オーバーハング型警報装置		高齢者等の事故防止 対策設備	-	
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム	-	
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-	
自動車交通量 (台/日)		5,249	歩行者等交通量 (人/日)		864	鉄道交通量 (本/日)	42

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	-1.0		事故別	件数	死者数		踏切幅員が狭く車のすれ違いが困難である状況に加え、踏切内の歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	6,299	AとBの和	7,336	踏切内の事故発生状況	踏切事故	-	-	地域課題	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,037				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R6	R7	-	
	対策内容					
	踏切拡幅					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-	-				
	除却年度					
	-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	おおたはら	所在地	長野県千曲市大字桑ノ原		
踏切道名	大田原	道路名	一般県道小峰稲荷山線	道路管理者名	長野県
		鉄道路線名	篠ノ井線	鉄道事業者名	東日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点	
 		踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
		踏切長(m)	6		左道路	0.5	5.0	0.5	
		横断本数(本)	1		踏切道	0.0	4.0	0.0	
		交差角(度)	90		右道路	0.5	4.0	0.5	
		道路 線形	左道路	曲線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
			右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
		交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m 以内)	-	
		車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m 以内)	-	
		歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
		踏切保 安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知 装置(手動)		○	
			高規格保安設備		-	高齢者等の事故防止 対策設備		-	
		特性	通学路指定状況 (学校指定)		-	通学路交通安全プロ グラム		-	
			バリアフリー法に 基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-	
		自動車交通量 (台/日)		156	歩行者等交通量 (人/日)		84	鉄道交通量 (本/日)	74

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	5	前後歩道との幅員差(m)	-0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	本路線は大田原地区と千曲市街地を結ぶ唯一の道路であるが、接続道及び踏切道の幅員が狭く、車両等の安全な通行に支障をきたしている。(R7年1月末時点)
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	156	AとBの和	240		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	84				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R7.1.15(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
		進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		検討中	○	-	-	-	
		対策内容					
		改良計画書の提出期限：R11.3.31					
		事業完了年度	対策の効果等				
		-	-				
		除却年度					
		-					

地域課題踏切カルテ

更新日：令和8年3月末

よみがな	きたわりせん	所在地	長野県宮田村441580		
踏切道名	北割線	道路名	村道一般1号線	道路管理者名	宮田村
		鉄道路線名	飯田線	鉄道事業者名	東海旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

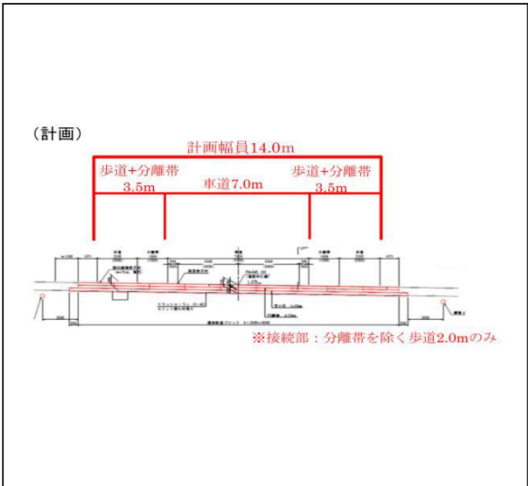
R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
踏切長(m)		6.8		左道路	0.0	5.6	1.4		
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	7.1	0.0		
交差角(度)		60		右道路	0.0	5.6	1.4		
道路 線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-			
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m 以内)	-			
車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m 以内)	-			
歩車道分離方法		白線 黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	-		
踏切保 安設備	賢い踏切		○		踏切支障報知 装置(手動)		○		
	高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止 対策設備		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全プロ グラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		2,214		歩行者等交通量 (人/日)		127		鉄道交通量 (本/日)	46

基準算定データ									R3年9月末時点
ピーク時遮断時間(分)	7	前後歩道との幅員差(m)	-1.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切幅員が狭く車のすれ違いが困難である状況に加え、踏切内の歩道が未整備であり、歩行者等の安全な通行に支障をきたしている
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	2,435	AとBの和	2,575		踏切事故	-	-		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	140				道路交通事故	-	-		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車バトルネック踏切	歩行者バトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		

法指定の状況						R7年12月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)						
R4.1.21(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-		

対策図・完了写真		対策実施の状況				R8年3月末時点	
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		事業中	○	R3	R3	-	
		対策内容					
		・踏切拡幅工事実施予定(令和8年度～令和9年度末)					
		事業完了年度	対策の効果等				
		-					
		除却年度					
		-					